

国際会長テーマ

「奉仕の世界」

ウェイン A. マデン



矢盛 亜実様
京都市立正親小学校6年
(京都洛陽LC)



佐藤 如月様
甲賀市立伴谷東小学校6年
(水口LC)



越智 柚月様
橿原市立大成中学校1年
(橿原LC)

第25回国際平和ポスターコンテスト最優秀作品 地区ガバナー賞3点

今の特集

公式訪問

第25回国際平和ポスターコンテスト
2012年度夏期 YCE レポート

ガバナーテーマ 少欲知足 “三方よし” 仲間の「話」クラブの「和」地域の「輪」

アクティビティスローガン 健康で We Serve “継続は力なり” 綿密な準備とチームワーク

<取扱商品>

旗附属金具・神仏飾金具

旗全般・カップ・トロフィー・楯・メダル・バッチ・ワッペン

高級看板・金属工芸品・記念品・製造販売



西脇旗金属工芸

〒610-0121 城陽市寺田深谷 57-49

TEL.0774-54-0221

FAX.0774-56-3374

nishiwakihatam@yahoo.co.jp

L 西脇 友俊 (京都南 LC)

かにかくに
祇園はこいし
寝るときも
枕のしたを
水のながるる…



料亭 京新山

京都市東山区縄手新橋西入ル TEL.075-541-6980

L 藤原 覚 (京都天神川 LC)



ガバナー帰朝報告会開く!

2012
12



報告会が14時よりリーガロイヤルホテル東京「春秋の間」で230名が出席のもと開催されました。

司会の地区キャビネット幹事高谷保から、ご出席いただきましてご来賓の歴代ガバナーの紹介があり、歴代ガバナーのガバナー当時と変わらぬ矍鑠たるお姿に一同大いに感心をいたしました。続いて第1副地区ガバナー児玉保次からは、南地区ガバナーが6月26日に正式に地区ガバナーに就任されたが、10日間の研修で蛹が羽化し蝶となった過程を充分お聞きいただきたいとの楽しい開会挨拶がありました。

続きましてご来賓を代表し、トップバッターとして名誉顧問・元国際理事L福井正憲は、自身が地区ガバナーに就任された当時は振り返り、「三方よし」は3府県よして335-C地区がまとまり、皆から尊敬される地区となつてほしいと挨拶されました。続いて335複合地区ガバナー協議会議長L奥村啓二は、複合への協力を要請されるとともに、会員増強の重要性を訴えられました。また、名誉顧問会議長・前地区ガバナーL足達靖彦からも挨拶をいただきました。

いよいよ南地区ガバナーによる帰朝報告会のスタートです。はじめにライオンズクラブ国際協会の編集によるDVDを10分ほど視聴の後、パワーポイントを用いて、南地区ガバナーが映像に伴い、説明を始められ、最初の6月18日、22日までのエレクトロセミナーの模様では、国際会長ウエイン・A・マデンは500マイルレースの熱狂的なファンで、レースにたとえて、ライオンズクラブの活動は、充分な準備と綿密な計画、ピットインすれば一刻も早くコースに戻すチームワークが必要であり、皆さんと力を合わせれば成功率が高くなるとの会長方針の説明があり、識字率の向上、LCIFでの麻疹の撲滅など具体的な内容の報告もありました。また、閉会式の模様や、足達地区ガバナーからエレクトロリボンが外され、南地区ガバナー誕生の様子も報告されました。最後に南地区ガバナーから出席者にコミュニケーションを図りながら、楽しい例会(人の和)で退会者をなくしてほしいとのお願いがありました。

閉会は第2副地区ガバナー森井士朗で「ライオンズは95年たつが、マデン会長の言われるように変えなければならぬことは変えて行こう」と力強く閉会の挨拶をされ、帰朝報告会は無事終了しました。



真夏の木々の照り返しからも蝉の音が聞こえる8月1日、2012年(2013年度)国際会長の指針及び国際協会のプログラムを地区役員、地区内全クラブ会長・幹事の皆さまにお伝えするガバナー帰朝

地区キャビネット運営委員長 林 繁

第1回キャビネット会議



さて、会議は報告事項「キャビネット予備会議議事録、国際会長プロフィール、地区ガバナープロフィール、335-C地区組織表、今後の国際大会及びアジアフォーラムの開催予定、キャビネット予備会議より第1回キャビネットの活動経過報告および年間主要行事予定、公式訪問日程、周年行事予定、ガバナー公式訪問および懇談会、現況報告書、新入会員入会式、平成24年度(第9期)聴覚障害者社会参加支援事業助成金申請、335-C地区2011年(2012年度)期首からの会員動静、女性会員増減表、335複合地区活動状況一覧表、第1回335複合地区ガバナー協議会、2011(2012年度)6月分LCIF抛 outcomes 一覧表、九州豪雨災害による義援金、335-C地区Handbook」15項目についての報告に引き続き、審議事項に入り、第1号議案「2013(2014年度)第2副地区ガバナー候補者推薦選考基準、第2副地区ガバナー有資格者立候補有無について」につき審議、承認の後、第2号議案「その他」では、新入会員の歓迎の言葉の手渡し方法、時期について議論があり、印刷物は後日送付する、歓迎の言葉をゾーン・チェアパーソンより新入会員に手交する方法、時期はクラブ及びゾーン・チェアパーソンに一任する、との見解が確認されました。

その後、ゾーン・チェアパーソン、地区委員長方針、現況報告があり、今までのゾーン・チェアパーソンの皆さま方の発言機会が少なく、今回は発言時間を多くとつたため、多くのゾーン・チェアパーソンから会員増強策や東日本大震災復興支援、ゾーン・チェアパーソンの意見交換の場の設置など、建設的な貴重なご意見、要望等を賜りましたが、途中で時間が押ししてきたため、発言時間制限する対応を余儀なくされたことは残念なことでした。

予定を30分超過した17時30分、第1副地区ガバナー児玉保次より「行政機構に響かればゾーン・チェアパーソンは知事、委員長は大臣」とゾーン・チェアパーソン、委員長への励ましのエールで閉会の挨拶があり、地区ガバナーの閉会のゴングで第1回キャビネット会議は無事終了しました。

閉会后、地区役員の更なる懇親を深めるため懇親会が開かれ、「出会って知人となる、語り合って友となる、共に汗して同志となる」の新入会員への歓迎の言葉を全員が体感する和気あいあいの楽しいひと時となりました。

地区キャビネット運営委員長 林 繁

名誉顧問会議長・前地区ガバナーL足達靖彦からは新体制への協力のご挨拶とともに、国際役員の方につき状況報告がありました。

配布資料の確認、議長選出、議事録署名人選出の前に、このキャビネット会議では、名誉顧問会議長・前地区ガバナーL足達靖彦を始め、前地区キャビネット役員様およびホストクラブ京都やわたライオンズクラブ会長様に対し、一年間の地区運営のご尽力に対し感謝の心を込め、地区全会員を代表して地区ガバナー南清右衛門より感謝状が贈呈されました。



30度を切る真夏には珍しい過ごしやすしい陽射しの中、8月10日の15時より2012年(2013年度)第1回キャビネット会議が南地区ガバナーのお膝元の滋賀県草津市のホテルボストンプラザ草津で開催されました。

地区ガバナー南清右衛門による開会のゴング、定足の確認、出席者の紹介の後、地区ガバナー南清右衛門により出席者に対して、8月1日の帰朝報告会のお礼と、本日の参加へのお礼があり、国際役員の方で色々な問題がある旨の報告、複合地区からの要請のある九州豪雨災害義捐金は一人5000円の協力の依頼がある



ライオンズクラブ国際協会 335-C 地区

京都府知事表敬訪問

残暑厳しい中、去る8月20日(月)午後2時30分から南ガバナリーにキャビネット幹事 高谷 保L、キャビネット会計 中川 知博L、3R3Z

ゾーンチェアパーソン 植田 喜裕L、地区PR情報、IT委員長松岡勲Lが随行して、京都府庁知事応接室にて、山田啓二知事を表敬訪問しました。

ガバナリーよりガバナリー就任の挨拶と今年度のガバナリー方針、活動計画の説明がなされ知事よりお祝いの言葉が述べられ、日頃のライオンズクラブへの活動に対して感謝の意が伝えられました。

続いて、ガバナリーから、バナリー、名刺入れ、多目的ピン等記念品を知事に贈呈され、記念品の説明がなされました。

京都、滋賀、奈良の連携の重要性、滋賀県からの大切な水の提供、環境保全の取り組み等多義に渡る会談内容と話題は広がり、約30分に渡る表敬訪問でした。



京都市長表敬訪問

お盆明けのまだまだ残暑厳しい8月20日(月)午後4時30分より、南ガバナリーに幹事、会計、PR情報IT委員長が随行して、京都市役所市長室に門川 大作市長を表敬訪問しました。

ガバナリーから就任の挨拶を述べられ、市長よりお祝いの言葉が述べられました。

引き続き市長へ記念品の贈呈がなされ、ガバナリーより記念品の説明がなされました。

ガバナリーより今年度のテーマ、活動方針が述べられた後、日本の商人の心得(三方よし)について市長、ガバナリーにて意見交換された。

現代社会に於いて、三方よしは、世界にも誇れる大切な真の心得であると、京都、滋賀、奈良は、日本の中で、世界の中で重要な位置にいる事を誇りに、任期満了まで頑張つて下さいと、市長より、ガバナリーへ応援のメッセージを頂戴し、約30分に及ぶ表敬訪問を終えました。

(京都市長訪問には、京都西LC L中村 三之助のご協力を頂きありがとうございました。)



2012年度夏期 YCE 来日レポート

「京都の思い出」

ジュリー・ドウン(ベルギー)

Julie D. HOEN

第1ホストファミリー 大江LC:越後様

第2ホストファミリー 城陽LC:柿内様

私はベルギーから来ましたJulie, D Hoenです。2012

年の夏、私は初めて日本に行きました。ライオンズクラブのみなさん、ありがとうございました。この国を訪れることは私の十年来の夢でしたので、とても楽しみでもありました。

私は一か月滞在し、3つのホストファミリーのもとに滞在しました。ライオンズクラブの活動の中ではレオクラブの方々、また世界中から集まった学生など、多くの友達に出会うことができました。日本のライオンズクラブの方々には本当に親切で、何か問題があればすぐに話を聞いてくださいました。

私は有名な観光地である、京都の東本願寺や八坂神社にも行き、それらは驚くほど美しかったです。ライオンズクラブの活動で友達と、素敵な方々で私たちにすべてを説明する時間をとってくださいました。

そして私は広島市の平和記念博物館にも行きました。みんなでユニバーサルスタジオジャパンにも行き、とても楽しむことができましたし、

たくさん日焼けもしました。ホストファミリーの方と一緒にいない時間も他の友達と一緒にいれば家族のように感じました。

また、私はみんなと違った経験もしました。一つ目のホストファミリーとちょっとしたトラブルにより、女性だけのホストファミリーの家に移りました。そこには私と同年の台湾人の女の子もいて私たちは親友になりました。森さんママと娘のまいちゃんにはとても感謝してい





2012
12

滋賀県知事表敬訪問

大変厳しい酷暑の中、去る7月30日(月)午後1時、滋賀県庁にガバナール南清右衛門、キャビネット幹事L高谷 保、キャビネット会計L中川知博、野洲LC 幹事L田中平一郎、野洲LC L富波義明 地区PR情報IT委員長が随行して、嘉田滋賀県知事を表敬訪問されました。

南ガバナールより知事へバナー、名刺入れ等の記念品を渡され今年度のガバナール就任のご挨拶をされた。

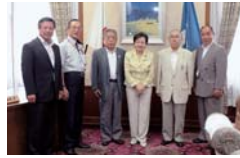
知事より滋賀県からのガバナール輩出に付大変喜ばれ、就任のお祝いの言葉が述べられました。

引き続き、ガバナールから今年度の方針、スローガンについて説明がなされ、三方よし、近江商人の心得が現代社会においても大切で、日本経済の根底にあり、ライオンズクラブメンバーの活動にも大切な精神であるとのこと説明がなされた。

知事からも、ライオンズクラブの活動に対して励ましのお言葉を頂戴し、約15分に渡る表敬訪問を終えました。

(滋賀県知事訪問には、野洲LC L富波義明のご協力を頂きありがとうございました。)

地区PR・情報・IT委員長 松岡 勲



奈良県知事表敬訪問

晩秋の紅葉爽やかな12月4日(火)午前9時30分より地区ガバナール南清右衛門に、地区キャビネット幹事L辻 徹郎、地区キャビネット会計L中川知博、地区PR・情報・IT委員長L松岡 勲、地区PR・情報・IT副委員長L 染川 尚が随行して奈良県庁知事室にて、荒井正吾知事を表敬訪問致しました。

地区ガバナール南 清右衛門より今年度ガバナール就任の挨拶がなされ、表敬訪問が12月になった事の説明をされました。荒井知事より、お見舞いのお言葉が述べられた後、荒井知事から京都府、滋賀県との今迄の人生での関わりについてお話を戴きました。地区ガバナール L南 清右衛門からも代々奈良県とは縁があり、家族で良く奈良県を訪れる等会話が弾み、和やかなムードで会談がすすみました。その後、知事より環境問題、計画的環境整備の重要性のご説明をなされ、ライオンズクラブへの協力要請もなされました。

最後に、地区ガバナール南 清右衛門から知事に記念品の贈呈(バナー、多目的ピン、名刺入れ)記念品の説明をなされました。知事からはライオンズクラブの活動に励まして励ましのお言葉を頂戴して、約30分に渡る表敬訪問を終えました。

地区PR・情報・IT委員長 松岡 勲



2012年度夏期 YCE 来日レポート

まずし、彼女たちのおかげで日本のせわしない道や忙しい人々、その日常生活を垣間見ることができました。目にした全てのものに驚き、家族にはお土産も買うことができましたし、京都の新京極と寺町通りではショッピングもできました。

かつ井や牛井、刺身にお寿司、とんかつに焼き鳥など、私は生の魚には慣れていませんでしたが、それでもすべてがおいしくて、それらをベルギーに持って帰りたい程です。

3つ目のホストファミリーはあまり英語を話すことはできませんでしたが、少しの日本語、そしてジェスチャーを交えながら、何とか私たちはコミュニケーションを図ることができました。当初は難しかったですが時間とともに慣れていきました。彼らは私を知ろうと全力を尽くしてくれましたので、とても感謝しています。私は本当に彼らの家族の一員であると感じました。とても面白い家族で本当の私の家族のようでした。私のお姉ちゃんである、まりなちゃんは夏休み中だったのでたくさん時間を一緒に過ごしました。言葉の壁があるにもかかわらず、多くの思い出を作り私はそれを忘れることはないだろうと思います。京都タワー、展示会、カラオケにも行きました。私は本当に彼女との時間を楽しむことができました。最後の日はバーベキューをしに滋賀県まで行き、湖の上に打ちあがる花火を見ながら楽しみました。それはとてもきれいでした。

京都とベルギーのライオンズクラブの方々には、この夢を実現させて下さったこと、また日本のいろいろな側面を発見できるように多くの活動を企画して下さいましたことを本当に感謝したいです。すべての交換留学生を集めることは間違いなく素敵な考えで日本のことを共有するいい機会でした。私たちはみんな日本に対して違った見方を持っていましたが最後には全員がこの滞在を楽しめました。

出会ったすべての人、そして京都を恋しくおもうでしょうし、まだ日本にいるにもかかわらず私はもう泣いてしまいました。日本を去ることは非常につらいです。しかし、必ずいつかまた戻ってきます。そのときまで連絡を取り続けましょう。



2012年度夏期 YCE 来日レポート

(ヘンリー・ニューベリ (フィンランド))
Henri Nyberg 京都東LC:中西様
第1ホストファミリー 宇治LC:高柳様
第2ホストファミリー



日本に来て、2つの素敵な家族と共に約1ヶ月間滞在出来る機会を得たことは大変幸せなことでした。
日本と日本人は私にとって非常に友好的でとても良かったです。YCE留学生として日本に来られる話の前に、北海道の小樽で大学に入学することに決まっていた。また現時点で日本に住んでいる友人もおり、日本に対して私がカルチャーショックを経験する前に彼らを通じてショックを受けたいように望みます。私はより良いコミュニケーションが出来るように日本語が出来るように望みます。私の相互作用(理解)は母国語の言語によって限られています。日本語の基本的な事を知る重要性についてYCE留学生に伝える(教える)のは賢明だと思います。

私の学生生活を両親は時々、私の幸福感(幸せ)について懸念している感があります。2年間暮らしているフィンランドの人々も少し奇妙に感じている事でしょう。私自身を知っている私や両親からの連絡が無いという事について自己責任を伴うのだと理解します。

日本はとても安全な国ですが、単独行動で外出することについては自分自身の問題だと思えます。このようなルールは誰にとっても同じことで、少しでも単独(YCE留学生と共に)で公共交通機関を利用する禁止をしています。私たち留学生の活動はとても素晴らしいです。沢山の寺院が点在していることや福島、USJ、西陣織会館、福知山の小旅行や景観、YCE嬢との会話などを行ったこと、またホスト家族と共に同行し嬉しかったです。同行されたライオンズクラブの皆様方との交流や歓迎は非常に良かったです。日本のライオンズクラブの偉大さや数的量、また世界的なYCE事業の取組と留学生に対する対応や助言など大変に賢明だと思えました。持参したバナナやリン、記念品の交換等は快く感じました。

日本での食事、食べ物最高で好き嫌い無く(納豆は別)いただきました。フィンランドで食事をすると大変おいしく(肉、魚、野菜)日本で数キロ体重が増したと思えます。各ホスト家族によってクリスマス前の豚の様に食べ物もいただきました。YCEの学生としてアルコールは飲むつもりはなかったが飲酒年齢はパスしてアルコールは飲む量(東ヨーロッパ)を自己管理出来るし、日本のビール、日本酒や焼酎など多種を楽しみました。日本のバーや居酒屋でより多くの良い経験を滞在中に致しました。日本の夏はフィンランド人にとって旅行前に聞かされていた暑さより、非常に暑く体調管理をすることだと感じました。水をたくさん飲むこと、UVプロテクトを使用し良好な体調を維持し、暑くなる前に朝のジョギングを行うのもOKで、寒い国からの来日者は喉が渇いていなくても水を飲むべきでしょう。このように日中は元気に滞在する簡単な方法です。

日本でも最も多くの素晴らしい家族により楽しみました。異なる文化からの人々の会話をやるチャンス(ひととき)は非常に楽しく、それらは日本人について別々に考える方策でもあります。日本人の人々について理解をするのにホストファミリーと同行し祇園祭や鈴鹿山系のハイキングなどに参加することは巨大な名譽だった。また私は日本での買い物が好きで京都伊勢丹、大丸などで良い物を多く購入致しました。日本で行われていた巨大な商取引は大学で経済学を学ぶ私(学生)にとりて非常に興味深いものでした。私やYCE留学生が経験した事はレオメンバーのお陰といえるでしょう。日本の友人と話す時は本音で話し合い複雑な言葉の障壁はあるものの英会話のみで話すことは珍しく日本語を交えて会話をするのは非常に楽しいものでした。帰国をするまでの長い時間、期間の機会を得たことは本当に幸せでした。すでに京都、宇治のファミリーの人たちがホームステイを行うのに一年間の調査を行っていたことを多くの人たちから聞き、私の心を温めました。京都(335-C地区)は間違いなく私自身の特別な都市になりました。言語を学び、日本について、これらからもより多くの事を学びたいと考えます。私の将来の仕事について、フィンランドと日本間の関係が含まれる作業に至っても驚かないでしょう。

私の現時点での心境はフィンランドに帰国をして、一ヶ月先、自分の研究の為、特に留学の手配をします。また、私の友人や女性にさよならを言う決意です。無気力に感じられたらお詫びを申し上げます。

中西ファミリーの皆様へ
中西家族の生活は非常に楽しく、自転車での散策をほぼ費やし、満足いくサイクリングでした。
中西氏の人たちと祇園祭りに朝より行くことは私にとってニュースでもあり楽しみでした。
中西家の子供たちも素晴らしい私を含め公平に接しても良かった彼らの生活を乱すことなく過ごせた。朝の英語は非常に良く、米国やオーストラリアへの留学はそれ以上に良くなるでしょう。また嘉穂も大学の修学アパルトで暮らすことは幸せだと思えます。これらのことは彼女にとって利益であると共に幸せになると思えます。エリの態度や生活を覗いているとストレス無し、泰介は少し野性的ですが将来、彼はスマートな男性に育つことが容易にうかがえます。

中西家の食事は大変美味しかったし私に用意された部屋も良く、毎日の食事を好みました。布団での睡眠も問題なく過ごせた。中西家の地図も東寺の近所で判りやすく便利で音楽を聴きながらのサイクリングも日々を過ごし、多くの楽しみがありました。
私が行っている武道にもかかわらず、日本拳法を体感出来ることが素晴らしいと感じ、日本語のトレーニング方法を参照するのは良かった。このことをフィンランドの道場で伝えたいと思っています。
北村と訪れた大阪の近くの公園(USJ)に訪れて楽しんでたり愛ちゃんや泰輔の友人の母親のような家族と素晴らしい時間を過ごした。また鰯の肉など居酒屋的に食することも気に入りました。事実、私の友人も鰯の肉が大変好きでノルウェーから購入し食(フィンランドでは違法)しています。
私の研究課題からはなれて中西家族や京都での経験と好印象は私の人生の中の良い思い出となるでしょう。中西家皆様の幸せを願います。

高柳ファミリーの皆様へ
高柳家のステイ生活は大変恵まれ、食事や部屋はグレート高い素晴らしい環境となっています。
三種類の音楽、酒と女の子と茂幸と言語の障壁が少々あるも関わらず茂幸と一緒に日々楽しみながら過ごしました。我々は同じような興味や趣味もあり、言語の障壁は感じられなかった。また彼と一緒に宇治の水力発電ダムへの散策や見学は興味深く面白く、また良い運動でした。
大都會を好む私にとって京都市内へ数回、行くことや友人に会う事の楽しかった。また、私の好む音楽などやフラグ・ザッハ、ギター関連のものについて私の兄に見せています。音楽は人々にとって心を満たします。
高柳家族で日本語を学ぶのは最も良いトレーニング方法で、英語の混ざった会話を理解し新しい日本語を学ぶには短期間で学ぶことが出来ます。
私の部屋は高速のインターネットやデジタルテレビの接続環境が大変良く、PCやニュース(テレビ)でオリンピック等を楽しく見ました。日本の滞在中のなかで、茂久と恵子は非常に特質ことで彼等(家族)との夕食を共にすることは、とても印象に残り幸いです。言葉の障壁は日本語と英語で難しかったが、その障壁は難なく簡単にクリア出来た。
日本での時間を両家族(ホストファミリー)中西家、高柳家)に接した楽しさや素晴らしい生活に心に残るでしょう。
高柳家族と日々の団らんや食べ物等を、非常に感謝すると共に日本の旅や私の人生に新しい exciting 章を間奏曲化され、日本での滞在中の出会いの人達を思い出してください。
皆さんに、こんにちは、と伝える時間、再会が出来るように心より願っています。
帰国をする朝、4時今まで元気で過ごせた事に感謝いたします。有り難うございました。





2012年度夏期 YCE 来日レポート

2012
12



2012年夏の物語
ロ・ウェン・ティン (台湾)
LO WEN TING
第1ホストファミリー 近江守山LC: 森本様
第2ホストファミリー 奈良LC: 辻村様

「初めまして、私はふみこです。今年19歳、台湾大学の一年生です。専攻は中国語です。どうぞよろしくお願いします。」この自己紹介から、私のこの夏の物語が始まります。

7月19日から11日間は、森本さん家族と過ごしました。炎天下の中、守山ライオンズクラブのアクティビティの草刈りでは、炎天下の中、50代以上のライオンズクラブの方々と共に参加しました。私はその熱心な姿をみて奉仕精神に感動しました。

もう一つ印象に残っていることは、広島平和記念資料館を訪れたことです。原爆の解説を読み、たくさんさんの写真を見ると、何度も涙を流さずにはいられません。改めて核廃絶・世界平和の重要性を認識しました。

7月29日から11日間は、辻村さん家族と過ごしました。世界遺産の元興寺に滞在できたことは、とても幸運でした。奈良には、鹿がたくさんいて観光客は鹿せんべいをあげます。とてもかわいい鹿は、奈良にぴったりです。

奈良は日本最初の都があった街です。京都の装飾的、優美さとは違って、奈良は建築様式や奈良絵の文様からも分かるように、素朴なところだと思いました。

私が奈良で一番貴重な体験をしたのは、極楽坊保育園を訪れたことです。極楽坊保育園は、63年前元興寺の境内に、戦後のたくさんさんの子どもたちのために建てられたのが始まりです。一番心打たれたのは、辻村泰圓おじいさんが戦後自分のことよりも困っている子どもたちを助けたことです。私はこの精神を学ばなければなりません。

YCE生として、日本最大の湖の琵琶湖のそばで森本さん家族と、そして世界遺産元興寺の中で辻村さん家族と過ごせたことはとても幸せでした。この貴重な日本での経験は、私の心を満たし、充実したものとなりました。またチャンスがあるなら、YCEに参加したいです。

日本での忘れられないホームステイ
ツァイ・ミン・チェ (台湾)
TSAI MIN-CHIEH
ホストファミリー 京都薫風LC: 森様

とても素敵な日本での3週間、ホストファミリーのママ&真衣お姉ちゃんが優しくて ホームシックになりませんでした。同じ来日学生

生のベルギーのジュリーと 新京極・寺町・北山でのショッピング。家の前をすごい迫力で祇園祭のおみこしが行き 夏のお祭りを楽しみました。カラオケ&夜遅くからのラーメン e t c. 一緒にプリクラも。

私達の家は二条城の近くで 観光に行くのも便利でした。

金閣寺・八坂神社・平安神宮・知恩院・嵐山・天龍寺・南禅寺・大津・大阪 e t c. なかでも下鴨神社の みたらし祭は夜に行き 冷たい池の中を ろうそくをつけて無病息災の足型に名前を書き、今年一年 健康でいられます様にと、お願いしました。私の大好きな日本料理も 刺身・お寿司・蕎麦・天ぷら・鱧しゃぶ・全日空ホテルのピヤ

ガーデン・お姉ちゃんで行った大阪のお好み焼・焼そば・たこ焼き・日本の台湾料理・韓国料理・フレンチ・イタリアン

と美味しいお食事でした。薫風LCのメンバーの丹波さんの日本家屋の素晴らしい建物・漫画ミュージアム・錦市場も見学させて頂きました。LCの方々には広島&ユニバーサルスタジオ・京都観光・天橋立と日本の文化にもふれる事が出来ました。

LCの皆様・薫風LCの皆様・木下委員長この様なチャンスを与えて頂きまして 本当に有難うございました。日本の素晴らしさを体験する事が出来ました。





2012年度夏期 YCE 派遣レポート

MEMORY (心に残る刹那の記憶)

派遣先：ヨーロッパ (フィンランド)

京都ミレニアムLC 肥田 嘉太

たくさんの思いを胸に、僕は旅立った。

LCや両親が僕等を送り出した。外の景色は綺麗だった。窓から下を見下ろすと、大陸が小さく見えた。そして僕は眠りについた。何時間経ったのだろうか？眼を開くと、外は真つ暗だった。機内には着陸のアナウンスが流れている。機体が完全に停まったのを確認し、鞆を持ち、空港内へと足を踏み入れた。途中の乗り換えも無事に終わり、僕等は目的地、フィンランドに着いた。その日はホストファミリーの家に泊まった。そして次の日から、僕はキャンプに参加した。いろんな国から参加した僕と同じ派遣生や、担当のLCの方達がいた。日本からは、僕と一緒に来た女の子と、1週間前に着いていた女の子の計3人だった。キャンプでは、ダンスをしたり、BQをしたり、都会に出たりと、楽しく過ごした。その1週間後、キャンプも終わり、ホストファミリーの下で過ごすことになった。だけど、最初に泊まったホスト



トハウスの水道水や、なかなか楽しく過ごせない辛さから、一度帰ろうと思った。キャンプの時にも同じようなことがあったけど、この時は帰りがなかった。けど、LCの方が動いてくれて、ホストファミリーの入れ替えがあったおかげで、残りの1週間と少しは楽しく過ごすことができた。今ではいろんな方に感謝しています。こんな体験は、2度と出来ないことだと思います。これから先の人生、この留学で学んだ事を活かし、精一杯楽しんで生きようと思

います。

私はケイティペリーという歌手が大好きで彼女の出身地であるカリフォルニアに昔から行きたくてたまりませんでした。いざ、着いてみると空港からは背の高いヤシの木が見え、蒸し暑い日本とは違いカラッととしたやさしい気温を感じました。カリフォルニアに来たんだなど実感しました。

派遣先：アメリカ (MD4)
京都東LC 中西 萌

私は、二週間ホームステイ、一週間キャンプ、二週間ホームステイの計三十八日間を過ごしました。一番に残っているのは最初のホストでデイズニラランド、ユニバーサルなどたくさん連れていってくれました。毎日がイベントでした。ケイティペリーにあこがれて海に行きたいとお願したら車で何時間もかけてつれていってくれました。私が風邪をひいたとき、とても心配してくれました。最後には、プレゼントをくれました。そのプレゼントはホストの家の鍵でした。「いつでも帰ってきなさい。あなたは私の娘だから。」

と言われました。本当に良いホストにめぐり会えたなど、私は幸せいっぱいでした。

それからキャンプ、二件目のホストなど、楽しくてたまらない日々を過ごしました。キャンプでは本当に良い友達もでき、日本に帰ったらお泊り会しようねと約束しました。

帰りの飛行機に乗れなくてももう一日ロスにとまるというハプニングもありました。

すべてが本当に楽しかったです。カリフォルニアに帰りたくてたまりません。行かせて下さってありがとうございます。



2012年度夏期 YCE 派遣レポート

スイスに行つて

派遣先：ヨーロッパ（スイス）

宇治 LC 宇多 萌乃

今回宇治ライオンズクラブから7月20日から8月17日までYCE派遣学生として留学させて頂き非常に感謝しています。ありがとうございます。

まず、最初の2週間は、キャンプという形で、Rapawillのyouth hostelというところで、2週間ほど滞在していました。周りは湖でも自然に恵まれたところでした。キャンプにはいたい、35人ぐらい参加していて、ほとんどの人たちがヨーロッパの人たちでした。他にもアメリカ、カナダ、ブラジルなどといったふうに世界中からキャンプに参加していました。2週間といった長いようで短い2週間でしたが、毎日が本当に充実していました。朝からRapawillという町に観光に出かけに行ったりチーズ工場に見学に行くなどスイスでしか味わえない経験をたくさんしました。中でも一番印象に残ったのが、みんなで山登りに行ったことです。まず、山登りが私にとって初めての経験だったので楽しくむことができました。又団体行動なので友達と仲良くなれ、ただただ楽しいと思う毎日でした。



共通語は英語です。こんなにいろんな国から来ているのに、一つの英語という言語で、世界中の人たちとコミュニケーションが取れたことに私は何よりうれしく、もっと英語を勉強させたいまた、他の言語もチャレンジしたいという新たに挑戦する気持ちもわきました。そしてその後の2週間はホームステイでした。おじいさんとおばあさんの家族で。日本のことをとても知っておられる家庭でした。また二人とも日本に住まっていた経験があるので、すごく話が合い、共感できることがたくさんありました。お二人ともとても親切で毎日のようにいろんなところに連れて行ってくださいました。私は、そのホームステイ先の親切さや心遣いにすごくうれしかったです。毎日新たな発見があり少しドイツ語も教えてもらったりといった風にただ英語やコミュニケーションをするだけでなく、英語はもちろんこの一カ月でたくさん素晴らしい経験ができたことができました。私は、今回の経験を活かし国際人になるための大切な第一歩になればと考えています。このような素晴らしい機械を与えてくださりほんとうにありがとうございました。学んだことを今後の学生生活や人生に必ずや役立つことを確信しています。

2012年度夏期 YCE 派遣学生歓送会

2012
12



2012年6月29日、「2012年度夏期YCE派遣学生歓送会」がリーガロイヤルホテル京都で開催されました。

足達前ガバナー、児玉第1副地区ガバナー、森井第2副地区ガバナーはじめ2011〜2012年度地区役員、2012〜2013年度地区YCE・レオ・青少年指導委員会、そして保護者の方々やスポンサークラブの皆様など多くのご参加のもと、楽しいひと時を過ごさせていただきました。

今回の派遣学生は、男子1名・女子2名の計3名で、アメリカ・ヨーロッパ（フィンランド、スイス）への派遣となりました。

歓送会では、最初に木下地区YCE委員長から「それぞれの派遣先の国のライオンズメンバーのご家庭を第二、第三の故郷の家族と思えるような触れ合いをして来てください。そして、一回りも二回りも成長して帰国してください。」との挨拶があり、足達前ガバナーからは「第二の家族をつくって一生の宝物にしてください。そして、今回の経験を生かして今後の勉学に励んでください。」と激励の言葉がありました。

その後、児玉第1副地区ガバナーの乾杯の発声でディナーに移りました。その中で派遣学生のスピーチがあり、それぞれ不安と期待を抱きながらも「日本人としての誇りを持って世界の人に接したい。」という力強い決意を聞かせてくれました。

最後に、岡地区YCE副委員長から旅の平安と無事の帰国をとの閉会の挨拶で歓送会を終了いたしました。

2011〜2012年度地区YCE副委員長

竹内 照夫



2012年度夏期 YCE 来日学生歓迎会



7月25日、リーガロイヤルホテル京都において「2012年度夏期YCE来日学生歓迎会」が、ベルギー、フィンランド、台湾から4名の来日学生を迎え開催されました。

南地区ガバナー、児玉第1副地区ガバナー、森井第2副地区ガバナー、高谷地区キャビネット幹事、中川地区キャビネット会計をはじめ、ホストファミリーならびにホストクラブの皆様にも多数ご参加いただき、YCE派遣OB生、335-Cレオ地区役員も参加し盛大に執り行なわれました。

はじめに、南地区ガバナーより「来日学生の受け入れをしていただいているホストファミリーの皆様感謝申し上げる。来日学生には、京都、奈良、滋賀はいずれも都のあった所で、素晴らしい文化や生活様式の違いを経験することによって、日本のよさを広めていただきたい。また、OB生やレオクラブが参加することによって、若者の国際交流ができていへんすばらしいことである」と挨拶がありました。

次に、木下地区YCE・レオ・青少年指導委員長より「YCE事業は皆様のご協力により成り立っている。来日学生には日本人の心を学んで帰っていただきたい」と感謝と激励の言葉がありました。

引き続き、南地区ガバナーと来日学生との間でプレゼントの交換が行われた後、児玉第1副地区ガバナーの乾杯のご発声で会食に移りました。途中、4名の来日学生によるスピーチが行われ、それぞれホストファミリーへの感謝の気持ちと、日本に来日した感想や意気込みを、たいへん流暢な日本語で話していただきました。

最後に、森井第2副地区ガバナーが閉会の挨拶を述べられ、終始楽しく和やかな雰囲気の下、歓迎会は閉会となりました。

地区YCE・レオ・青少年指導副委員長 吉田 和之



ライオンズクエストプログラムセミナー開く

豪雨に見舞われた今年の梅雨もやっと開けた7月18日(水) 14時より地区役員、各クラブの方々120名に参加いただき、ライオンズクエストプログラムセミナーがリーガロイヤルホテル京都で開催されました。

南井地区ライオンズクエスト委員長からの開会挨拶では「樹林十年、樹人百年」の諺があるように人づくりは今日明日に結果が出るもので無く、ライオンズクエストについても各クラブで息の長い取り組みをお願いしたいが、クラブ間で温度差があり、是非この差を埋めて欲しい」とのお願いがあり、続いて地区ガバナー南清右衛門より、昨年度野洲ライオンズクラブで実施された校内型のワークショップが紹介され、受講された先生方のすべてがライオンズクエストを高く評価され、教育現場で使いたいとの感想をお持ちとの内容が披露され、ガバナーから各クラブは自信を持って教育委員会、学校へ回ってワークショップに数多くの先生方の受講をいただきワークショップの成功を図って欲しいとの挨拶がありました。

335複合地区ライオンズクエスト委員長八畷隆よりは津市のイジメ問題など教育が荒廃している今こそライオンズクエストが求められているとの視点から、ライオンズクエストに取り組んだ経緯、及びライオンズクエストの意義を説明され、各ゾーン・チェアパーソンがキーとなって、各クラブ会長、委員長が地域の先生方に理解を求め、多くの受講生を出せるよう頑張つて欲しいとのエールを送られました。

今回のセミナーは、従来の特定非営利活動法人・青少年育成支援フォーラム(JIYD)の長沢有華講師からの「思春期のライフスキル教育」プログラムの説明の他に、複合地区ライオンズクエスト八畷委員長のご提案、ご協力もあり、ライオンズクエストのワークショップを受講され、教育現場で活かされている檀原市立新沢小学校校長の山本信彦先生の「教育現場からの声」の実践報告があり、参加者には興味深いものとなりました。

長沢講師よりは、ライオンズクエストの概略説明後、ライフスキルとは「日常生活で生じる様々な問題や要求に対して、建設的かつ効果的に対処するために必要な心理的、社会的な能力であり、子どもたちは経験が無いので教えていく」と話され、クエストの特徴は「正解を教えるのではなく、具体的なやり方(スキル)を教えること」と分かり易く説明されました。そ

の後、参加者との活発な質疑応答が交わされ、特に受講された先生方を支援するフォローアップ研修の必要性についてクラブメンバーからも指摘があり、335-C地区のライオンズクエスト委員会の大きな宿題となりました。

次に、檀原市立新沢小学校校長の山本信彦先生の「教育現場からの声」の実践報告では、小学生も5、6年生となると自我が目覚め、自分が周りからどのように見られているかを意識するようになる思春期となるのお話があり、ワークショップ受講中、講師がどのような話にも耳を傾け、人に対して攻撃をかけない話し方で安心を与えられていたことを学ばせていただくとともに、人間は人と人との繋がりの中でしか生きられないことから、「Only one」と「One of them」がともに大切だと言う事を教えていただき、教育実践しているとの話がありました。最後に山本先生は「①聞いたことは忘れず②見たことは覚えていきます③したことは理解することができず④身につけたものは自分のこととなります」とのまとめをされ、ライオンズクエストを教育現場で活かす貴重な報告をお聞かせいただくことが出来ました。

今年度のライオンズクエストプログラムセミナーはワークショップを受講された山本先生のライオンズクエストプログラムが子どもたちを指導する上で貴重なツールになるとの実践報告をお聞かせいただき、出席者は終了後、ライオンズクエストは今の日本の教育には必要なこととの確信を深め、今後、ますます協力していきたいとの思いを強くしたセミナーとなりました。

地区ライオンズクエスト委員会担当
キャビネット運営委員 藤村 洋二





* 献血・聴覚障害者福祉委員長会議 *

8月21日(火)リーガロイヤルホテル京都で1R(5R、8月24日(金)ボストンプラザホテル草津で6R(7R、8月29日(水)飛鳥荘で8R(9R)の地区献血・聴覚障害者福祉委員長会議が京都府健康福祉部業務課様、滋賀県健康福祉部業務課様、奈良県医療政策部業務課様、京都・滋賀・奈良3地区赤十字血液センター様、京都府聴覚障害者協会手話通訳対策部様、京都手話通訳問題研究会様を来賓に迎え、また335-C地区ガバナール南 清右衛門ライオンをはじめ、多数の地区役員のご参加を得て盛大に執り行われた。

足立委員長が開会の挨拶で、335-C地区ガバナール南 清右衛門ライオンのガバナールテーマ「三方よし」が献血活動にも言えることを述べた。すなわち、ライオンメンバーは献血者としてより多くの方々に献血をしていただける喜び、献血者は無償でまた善意で患者に血液を提供できる喜び、患者はその血液を輸注され苦しみから解放される喜びと、赤十字血液センターを要としてお互いに喜び合えることを述べた。

また、前年度に引き続いてより多くの献血量の成績があげられるよう、それには、献血カードの活用、献血サポートのお願い、ゾーン単位での活動などをお願いした。

また今年4月から発足した近畿ブロック血液センターへの見学セミナーを1月28日(月)に行うことが発表され、多くのクラブのメンバーが参加されることを依頼した。

聴覚障害者福祉についてはデフピープルによる難聴者支援事業に対する補助金の申請と手話の勉強会を通じて、手話を広める運動を展開し、閉鎖的になりがちな難聴者の皆さんとのコミュニケーションをとり、より明るい社会を作ってゆきたいと述べた。

地区ガバナール南 清右衛門ライオンからは、第48回献血運動推進全国大会が7月24日皇太子殿下をお迎えして滋賀県で開催されたとき335-C地区6R・7Rと近江八幡ライオンズクラブからそれぞれ献血車を一台ずつ合計3台、日本赤十字社に寄贈し、皇太子殿下より感謝状をいただいたことを述べられた。そして献血事業の重要性と、聴覚障害者支援事業の参加を積極的に取り組んでほしいと述べられた。

また、奈良県での会議には南ガバナールが体調不良で欠席されたので、第2副地区ガバナール 森井 士朗ライオンが挨拶をされ、献血はライオンズクラブの奉仕活動の中でも重要な位置を占めている。335-C地区は献血量が全国一であり、京都では特に学生献血が多いことなどを述べられた。

京都府健康福祉部業務課長 原田 克也様からは若年者(高2(高3)の啓発に献血の必要性を説いた雑誌を配布することが述べられた。

滋賀県健康福祉部業務課業務室 室長 勝山 好男様からは第48回献血運動推進全国大会が全国から参加され、盛大に催され、来年は福岡県で行われること、また10(20)代の若者の献血啓発につとめたい旨を述べられた。

奈良県医療政策部業務課長 谷 直人様からは30(50)歳の献血者が右上下りに増加していること、奈良県献血推進委員会が毎年3月に行われているライオンズクラブからも委員になつてもらっていることなどを述べられた。

続いて各府県の血液センターから335-C地区 前地区ガバナール 足達 靖彦ライオン、前年度委員長 杉本 幸一、副委員長 竹原 正二、西川 喜章、松本 匡司 各ライオンと、1R(9R)の献血功労クラブに感謝状が贈られた。

京都府赤十字血液センター所長 辻 肇様よりは全国7ブロックの広域血液事業体制が今年4月から発足し、近畿ブロック血液センターでは大阪・京都・兵庫・滋賀・和歌山・奈良の2府4県の血液が、一か所に集積され、検査と製剤



* 献血・聴覚障害者福祉委員長会議 *

が行われるようになった。血液製剤の安全性確保と安定供給の確保がなされていることを述べられた。また病院での血液製剤の無駄のない有効利用を京都府立医科大学病院でのデータをもとにスライドで示され話された。

滋賀県赤十字血液センター所長 小笹 宏様よりは昨年度400ml献血の伸び率が全国一位であった。若年者の献血推進にさらに努力したいことを述べられた。

奈良県赤十字血液センター所長 森田 倫史様よりは血液はまだまだ人工的に作ることができない。iPS細胞でも時間がかかる。血液製剤は長期保存ができない。受付から献血終了まで40分かかるが、それで人の命が助かることを述べられた。また近畿ブロック血液センターが4月からでき検査から製剤まで行われ、安全性の高い血液製剤が患者に提供できるようになった。ついで事業年報を参考にして血液事業の現状について話された。

各クラブとも所長様の講話と「アンパンマンのエキース」の題名のDVDを約15分にわたり放映し、献血の重要性を再認識させられた。

また京都では、京都府聴覚障害者協会手話通訳対策部次長 矢島 幸恵様、京都手話通訳問題研究会市内班班長 本岡 千都様より「手話を広めよう」と題した講話が行われた。災害や事故などのとき周囲の雰囲気だけで情報が入りにくいので困る。その時は非助けしてほしい。相手に情報を伝えるとき、筆談・口話(身振り)・空書き・手書き・紙書き・指文字・手話(表情を加えてほしい)などがあることを話され、「あいさつ」や「自己紹介」の研修をした。

滋賀では、京都手話通訳問題研究会副会長 高野 三智子様より手話ができることと大変便利であること、災害のとき情報の伝達ができにくく不便であるので情報バリアフリーを作ってほしい。紙書きをされてもわからないことがある。安心して理解してくれていると判ると安心感がありコミュニケーションができるようになる。「自己紹介」を覚えてほしいと言われた。そして「あいさつ」や「自己紹介」の手話研修をした。

奈良では、京都市聴覚障害者協会手話指導講師 鈴木 洋子様、京都手話通訳問題研究会副会長 高野 三智子様より「手話を広めよう」と題して講話と手話研修が行われた。出生より聞こえない人は口の動きでわかるが、途中から手話研修は難しい。聴覚障害者の原因にはいろいろある。コミュニケーションについて話され、いろいろな方法があるが、手話の方が目で見て読みやすい。情報は手で見て得るので手話は大切である。空書きや紙書きなどでは迷うことがある。どんな方法でもよいので語呂で伝えたい。目や動きでも障害者はわからない。行動が遅れてしまう。バーゲンのときでも売れ切れてしまうので先にレジの人に言って確保してもらおう。電車内でも放送されていることがわからない。そばにいる人が教えてくれたこともあった。テレビや映画でも字幕があると理解できる。など情報の伝達方法などによるコミュニケーションの取り方を述べられた。手話講習は、「あいさつ」や「自己紹介」のやり方を教えていただき各人自分の自己紹介を体験した。最後の質疑応答では、手話は表情を加えて手を使うことが必要であること、手話は国際共通ではないが世界の言語として認められており、また外国でも日本でも方言があるため難しいことなどが述べられた。参加メンバーの関心の深さがうかがえ、非常に有意義な会議であった。

今回の会議を通じて参加者の皆様が、献血・聴覚障害者福祉事業についての重要性を認識され、更なるご理解を頂けたよい会議であったと思われる。

地区献血・聴覚障害者福祉委員会

* ガバナー公式訪問始まる! *

まだまだ残暑が続く9月7日、前地区ガバナーL足達靖彦の所属する4R2Zの公式訪問例会へガバナーL南清右衛門が出席するガバナー公式訪問が開かれました。例年ならこのガバナー公式訪問の皮切りは前地区ガバナーのクラブからということになっておりますが、今年度は日程の都合がつかず、3番目の開催となりました。

残念ながら京都あさひLCが欠席の為、4クラブでの公式訪問となりましたが、ゾーン・チェアパーソンL西村昇をはじめ、各クラブのメンバーの皆様が温かくガバナーチームを迎えての公式訪問となりました。

この公式訪問には、あいにく南ガバナーは前月の27日から病氣療養のため欠席され、代わって第1副地区ガバナーL児玉保次がガバナーチームとして南ガバナーの委任状のもと、公式訪問に参加をいたしました。

例会に先立ち、懇談会が開催され、第1副地区ガバナーL児玉保次から南ガバナーの病氣療養の報告があり、その後、公式訪問の趣旨と南ガバナーの運営方針を説明され、各クラブより現況報告がありました。

各クラブからは会員増強の具体策が披露され、質疑応答の中で、第1副地区ガバナーL児玉保次からは例会の持ち方やクラブ運営、アクティビティについて各クラブへの助言があり、この質疑応答は他のクラブの運営に大きな糧となる充実した懇談会となりました。

例会では、地区ガバナーの代理、第1副地区ガバナーL児玉保次は、「例会の持ち方とアクティビティが一番重要でアクティビティはクラブの通信簿となる」とクラブ運営の重要性を挨拶された他、来賓として出席された名誉顧問・元国際理事L福井正憲、名誉顧問会議長・前地区ガバナーL足達靖彦からも励ましのご挨拶がありました。

また、4クラブより地区三役へのガバナー・ピンの進呈、ガバナーよりの記念品贈呈なども行なわれました。

例会後は4R2Zのメンバーと地区役員の間で懇親を深めるため懇親会が開かれ、テーブル対抗パター大会などの余興も企画、実施され、南ガバナーのガイドダンスにある「出会って知人となる、語り合って友となる、共に汗して同志となる」を体感する和気あいあいの楽しいひと時となりました。





全クラブ PR・情報・IT 委員長会議

9月14日(金)リーガロイヤルホテル京都にて 全クラブPR・情報・IT委員長会議が開催されました。

第一副地区ガバナール児玉保次、第二副地区ガバナール森井士朗、地区キャビネット幹事、地区キャビネット会計、地区キャビネット役員、各ゾーン・チェアパーソン、全クラブ担当委員長(約112名)の出席により 司会者地区PR・情報・IT副委員長L中野 幸彦の宣言にて開会し、会議の幕が上がりました。

引き続き 司会者から 出席地区役員の紹介がなされ地区PR・情報・IT委員長L松岡 勲の開会のご挨拶、委員会よりザ・ライオンタイムズについて、記事投稿のお願い、企業広告掲載の協力とお願いを、更に 今年度のポスターコンテストの応募方法、注意点等詳細説明がなされ、昨年度全面リニューアルされた地区HPの活用方法、運用方法等が詳しくなされた。

第一副地区ガバナールのご挨拶では、当委員会の活動テーマ『内へのPRから外部へのPR、ノンライオンのライオン化』に沿ったご意見を頂戴した。

ライオンズクラブの活動ではメンバー増強は欠かせない各活動を広くPRして、共に活動して行くメンバーを募る事が大切である。PRの必要性、ITを駆使した活動の必要性を全クラブ委員長が今一度認識して活動をお願いしたいと述べられました。

今年度の会議は2部構成で開催されました。

第一部では ザ、ライオンタイムズについての説明を地区PR・情報・IT副委員長L染川 尚よりさせて戴き、今年度は4回の発刊予定である事が伝えられ、更に各クラブより活動報告、アクティビティ報告等記事投稿の要請がなされ、企業広告掲載協力のお願いがなされた。

今年で記念すべき第25回目を迎える 世界的事業である国際平和ポスターコンテストについての説明を地区PR・情報・IT副委員長L加藤和利よりさせて戴き、ポスターテーマを始め、審査方法、応募方法、注意点、締切りについて説明がなされた。





全クラブPR・情報・IT委員長会議

2012
12

今年のテーマは『平和を想像しよう』

世界の子供たちが平和について考え、平和の大切さを思いそれぞれが、その思いを表現して頂く事を目的に活動しています。

毎年、すべての作品のレベルが上がり素晴らしい作品ばかりですが、当地区からは多くの優秀作品が選出されています。今年も素晴らしい作品が応募され、複合地区へ、そして国際本部へお届け出来る作品が寄せられる事を期待致します。

ポスターコンテスト スケジュール

クラブよりキャビネットへの作品受付締切 2012年10月22日(月)

地区審査会 リーガロイヤルホテル京都 2012年10月29日(月)

京都会場 日図デザイン博物館 2012年11月11日(日)

滋賀会場 ビバシティー彦根 2012年11月23日(金 祝)

奈良会場 奈良県文化会館 2012年11月25日(日)

引き続きブログとホームページについて、地区PR・情報・IT副委員長L藤田弘美と地区PR・情報・IT委員会アドバイザーL北岸秀規より詳しく説明がなされた。ホームページの運用方法(クラブ活動報告、委員会報告、ガバナープログ等)

第2部では、芦屋小雁師匠、ご夫妻による『元氣、勇氣、やる氣』と題し、約40分に渡り講演を戴きました。歴史と伝統、文化、観光の町京都、滋賀、奈良、何事も『氣』が大切、元氣に活動して、勇氣をもって取り組み、やるぞと思ひ意気込む、やる気ライオンズクラブの活動にも大いに共通点が多く感銘しました。最後の結びにあたり、当委員会担当キャビネット運営委員 L飯田謙二の閉会の挨拶があり幕を閉じました。

地区・PR・情報・IT委員長 松岡 勲

地区環境保全委員会(環境セミナー報告書)



残暑の候、過日9月7日(金)リーガロイヤルホテル京都にて、地区環境保全セミナーを開催しました。

『NPO法人琵琶湖トラスト様』の協力を得て実施致しましたが、週末のお忙しい中、地区副地区ガバナー L児玉保次、ならびに第二副地区ガバナー L森井士朗を初め、各クラブから大変大勢の出席を頂き有り難う御座いました。ご苦労様でした。

当日は、琵琶湖トラスト副理事長『京都大学名誉教授岩坪五郎様』を講師にお招きして、山の再生、保護に関する話を楽しくまた、解りやすく講演頂きました。岩坪先生は戦後最大の緑化事業である湖南アルプスの植林事業で禿山に緑を取り戻した事や、大変面白かったのは『研究者やマスコミを余り信じてはいけない』など独特の考え方、喋り口調で楽しいセミナーに成り、参加者の皆さんも喜んで頂いたのではないかと思います。今後も琵琶湖トラスト様には環境保全を通じてご協力頂き、各単一クラブがより良い地域活動を推し進めて行ける一助にしたいだければと考えます。

地区環境保全委員会 委員長 外村 善一





* アイバンク愛の光基金管理会 平成23年度活動報告(2011.7.1~2012.6.30) *

平成23年度事業報告

1. アイバンク例会に講師派遣
2. 新聞広告掲載
3. アイバンクホームページ更新
4. ライオンタイムスへ年4回アイバンク記事の掲載
5. 10月8日 2R合同アイバンクパレードに参加
6. 10月10日 目の愛護デーで啓発活動を行う
7. 11月4日 第7回アイバンクサポーター認定講習会開催
8. 11月15日 4アイバンクに対し、今年度助成金(1千万円)の目録贈呈と意見交換会開催
当会独自助成100万円を京都府立医大アイバンクに贈呈
9. 2月5日 第28回アイバンクシンポジウム開催 京都府立医大附属図書館に於いて
10. 機関誌「愛の光」V o 1. 21を発行
11. 3月27日 「第14回愛の光感謝の集い」開催
12. 3月27日 「管理会30周年記念式典・交流の集い」開催



平成23年度募金実績

ライオンズクラブ募金 34クラブ 3,290,401円 個人募金 8名 254,956円

平成23年度アイバンク活動実績

登録者数	153人	内、LC	15人
献眼者数	29人	内、LC	2人
利用眼球数	31眼		

クラブ関係者のご献眼者

野村徹夫 様	H23年8月5日	京都うずら野
西脇靖弘 様	H24年1月30日	京都南

多額のご支援を頂きありがとうございました。



2012.5.1~9.30

クラブ (敬称略)

京都華頂	400,000円
京都岡崎白川	100,000円
奈良セントラル	100,000円
奈良	79,124円
長浜	64,000円
京都洛東	30,000円
大和郡山	24,191円
竜王	20,000円
京都京洛	19,648円
能登川	10,000円
京都鳥羽	3,863円
合計	850,826円

個人 (敬称略)

広瀬 来三	100,000円
岡本喜久穂	8,143円
合計	108,143円

ライオンズメンバーへのご案内

京都府立医大アイバンク代表の木下茂教授からのご提案でアイバンクへの支援を戴いているライオンズメンバーのお役に立てるよう、目に関する悩みや治療方針、また セカンドオピニオン等の紹介や相談を受けていただけることとなりました。

ご希望者は、当管理会事務局(☎075-361-5763)を通じて、京都府立医大眼科医局アイバンク担当者へ連絡のうえ、対応していただくこととなります。

ご遠慮なくお申し出ください。

クラブ便り

6R、7R 24クラブ

献血輸送車を寄贈

例年がない酷暑が続く7月24日、滋賀県大津市のびわ湖ホールで第48回献血運動推進全国大会が皇太子殿下のご臨席を仰ぎ、盛大に挙行されました。

日本赤十字社では、都道府県単位の事業運営体制を見直し、各都道府県の血液センター単位を近畿ブロックは茨木市に日本赤十字社近畿ブロック血液センターを完成させ、ブロック内の検査・製剤業務を担うこととし、4月1日から近畿2府4県の検査部門と製剤部門（兵庫県を除く）を集約して、稼働させています。

また、滋賀県内でも少子高齢化の進展に伴う献血可能人口の減少等により献血者の安定的確保が重要な課題となっており、そのために献血の普及広報や迅速かつ安定的な血液の運搬等に欠かすことのできない献血輸送車の整備、更新が急務となっております。

ところが、このような状況の中、滋賀県赤十字血液センターでは献血輸送車が老朽化しており、緊急時に必要となる血液輸送にも支障が出ることから、ライオンズクラブ国際協会3351C地区6R、7Rの24クラブでは、この機会に献血輸送車を滋賀県赤十字血液センターに2両贈ろうと協議し、LCIFの一般援助交付金をいただき、残りを各クラブよりの拠出金と寄付金で賄い、第48回献血運動推進全国大会で贈呈しようとの取り組みを進めました。

献血輸送車の贈呈は第48回献血運動推進全国大会の席上、24クラブを代表して地区ガバナーL.南清右衛門から日本赤十字社近衛忠輝社長に対し贈らせていただきました（写真①）。

ただ、計画が少し遅かったこともあり、大会の当日は目録のみの贈呈と

なりましたので、納車準備が整った9月6日、ホストクラブの野洲ライオンズクラブ会長L.村井強行が納車に立会い、滋賀県赤十字血液センター小笹所長に車両をお渡しし、有効にお使いいただくようお願いしました（写真②）。

6R、7Rの24クラブでは引き続き献血事業に全面的に取り組んで行くとの思いを新たにしたいアクティビティとなりました。

尚、近江八幡ライオンズクラブは50周年記念のアクティビティの一つとして、近江八幡ライオンズクラブとして更に1両の献血輸送車を贈呈されています。



献血運動推進全国大会でL.南カバナーより目録贈呈（写真①）



9月6日野洲ライオンズクラブ会長L.村井が24クラブを代表して車を納車（写真②）



クラブ便り

京都紫明LC

京都紫明ライオンズクラブ 50周年記念事業「元気」

京都紫明LCは、50周年事業の先駆けとして7月28日、京都全日空ホテルにおきまして震災支援事業「元気」を開催いたしました。東日本大震災は、一年半近くも経過した今も復興への道筋が不透明な状況で、不慣れな京都で生活を送っておられる被災者の方々に京都紫明LCが何かご支援できないかと考え、「元気」を実行する運びとなりました。

避難し京都市内の小学校に通う子供達と保護者の方々に、マギー司郎さんや当クラブメンバーのし中村宇太郎によるマジックショーをご覧いただき、その後、美味しいランチを皆で楽しく食べさせて頂きました。この事業は京都市教育委員会の後援を受け、京都市長 門川大作様をはじめ、地区ガバナール南清右衛門のご挨拶を賜り、正に「市民と共に、行政とタイアップ」した我がクラブの理念に沿ったアクティビティを実践できたと考えております。

短い時間でありましたが、日常から少し離れ、子供達には明日への元気を、保護者の方々には明日への英気を養って頂けたのではないかと喜んでおります。閉会に際しては「頑張れ」ではなく「元気で」と声を掛けながら楽しい一時を終えました。

京都紫明LC 福井 孝治



近江守山LC

本年初 目田川河川公園清掃奉仕

午前9時から、目田川河川公園の清掃作業が始まる。天候は晴れ、本年 YCE 留学生の台湾 羅文延（ふみこ）様の見守る中、何と23名のメンバーが炎天下の作業に取り組んだ。2台の草刈り機、他の者は、破碎「ゴミ」、除草、そしてカキツバタを愛おしく避ける様に除草する。

1ヶ月ほど手を入れない目田川カキツバタ植栽地は荒地の風情で、手のつけどころがない。しかし、23名の海戦術は、1時間後に花開き、公園らしくカキツバタが見える処まで作業は進む。7月26日（水）の第2例会でお会いする ロー（羅文延）さんは、155cmの小柄な、日本人と見間違えるような学生さんである。語学を学ばれ、御婆さまは、日本の事を良く知る方との事。親日家の多い台湾よりの来訪者を快く「熱烈歓迎」できればと切に思う。

そして、「コミュニティ」若杉委員長 良いスタートが切れ、おめでとう。

近江守山ライオンズクラブ 会員委員長 南井 繁樹



その他の活動

「YCEを囲む納涼例会」留学生 羅文延さんを迎えて2012年7月26日1178回例会



＊第25回国際平和ポスターコンテスト 入賞作品＊

2012
12

最優秀作品 地区ガバナー賞



越智 柚月様
橿原市立大成中学校 1年

佐藤 如月様
甲賀市立伴谷東小学校 6年



矢盛 亜実様
京都市立正親小学校 6年

優秀作品 第二副地区ガバナー賞

山内 駿佑様
京都市立桃山南小学校 6年



優秀作品 第一副地区ガバナー賞

清井 愛絵様
長浜市立西中学校 2年



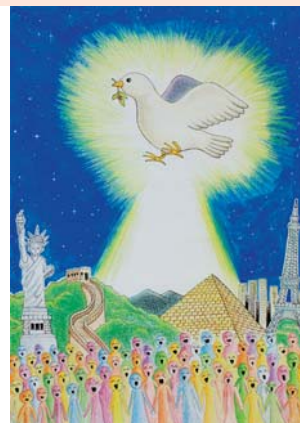
優秀作品 地区会計賞



永野 智子様
草津市立草津小学校 6年

優秀作品 地区幹事賞

岡本 暖様
川西町立川西小学校 6年



優良作品 ゾーン・チェアパーソン賞

城陽市立寺田小学校 6年
小野 桜様



田島 茉莉鈴様
京都市立岩倉南小学校 6年



小林 紘夢様
京都市立九条塔南小学校 6年



稲葉 絢様
宇治市立笠取小学校 6年

京都市立明德小学校 6年
吉田 茉莉様



山崎 立祐様
京都市立高倉小学校 5年



南丹市立園部小学校 6年
長谷川 真裕様



京都市立岩倉北小学校 6年
濱崎 日菜子様



宮田 朋弥様
京都市立南大内小学校 6年



津田 仁千樺様
南丹市立園部小学校 6年



古賀 咲希様
京都市立開晴小学校 5年



高木 頼嗣様
京都市立衣笠小学校 5年

福知山市立成仁小学校 6年
衣川 詩帆様



林 真穂様
京都市立小野小学校 5年



柴田 竜様
京都市立石田小学校 6年

優良作品 ゾーン・チェアパーソン賞

奈良市立青和小学校 6年
山辺 直輝様



平野 日菜様
東近江市立愛東北小学校 6年

草津市立草津小学校 6年
高橋 明弓様



橿原市立八木中学校 1年
樽井 颯様



奈良育英小学校 6年
小島 麻郁様



井上 海月様
甲賀市立伴谷小学校 6年



米田 莉大様
五條市立字智小学校 6年

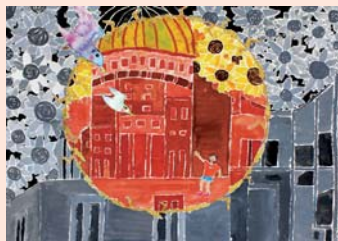


稲田 佳那子様
長浜市立西中学校 1年

優良作品 地区 PR・情報・IT 委員長賞



石田 千鶴様
京都市立向島小学校 6年



山内 柚紀様
京都市立新町小学校 5年



奥村 紗夜様
京都市立横大路小学校 5年

努力賞

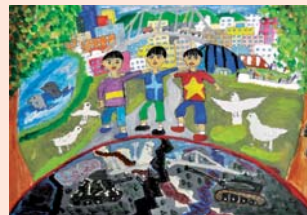
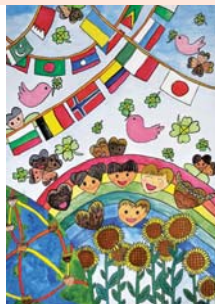
奈良市立青和小学校 6年
乾 翔太様



長浜市立西中学校 1年
新 美乃理様



綾部市立豊里小学校 6年
四方 真鈴様



京都市立市原野小学校 6年
星山 達宜様

大和郡山市立筒井小学校 6年
吉川 花奈様



彦根市立平田小学校 6年
川崎 乃衣瑠様



甲賀市立伴谷小学校 6年
前田 大輝様

京都市立二条城北小学校 6年
堀 直人様



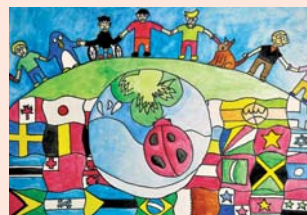
橿原市立大成中学校 1年
櫛森 菜々花様



桜井市立桜井南小学校 6年
萩原 健太郎様



栗東市立葉山小学校 6年
近藤 陽色様



京都市立西京極小学校 6年
中村 瑠壺様



田原本町立田原本小学校 5年
植田 麻香様

桜井市立三輪小学校 6年
山口 奈穂様



野洲市立中主小学校 5年
吉川 剛様



京都市立勤修小学校 6年
猪飼 紀香様



彦根市立高宮小学校 5年
増田 梨央様



綾部市立豊里小学校 6年
弓削 弘人様



クラブ便り

能登川LC

五個荘・能登川水泳記録会

平成24年7月25日(水)午前9時より、東近江市立能登川東小学校のプールにて、5・6年生が参加しての水泳記録会が開催された。プールサイドには五個荘、能登川東、西、南、北の各小学校より選抜された選手が集結し、5年生、6年生、男女に別けて、50メートル、100メートルの個人競泳と100メートル、200メートルのリレーが行われ、熱戦と応援が繰り広げられた。

記録会ということで、完泳することが求められ、選手は遅い速いにかかわらず真剣に泳ぎきり、応援は自校、他校の選手にかかわらず熱意ある応援の声が響き、保護者の方も強い日差しを避けながら温かい眼差しで一生懸命泳ぐ子供達を見守っておられた。

能登川ライオンズクラブからは、それぞれのレースの成績優秀な個人ならびにチームに賞が贈られた。今年で36回目の継続事業となる。

能登川LC 青少年委員長 藤居 正博



その他の活動

7月2日(月) びわこ一斉清掃に参加

栗東LC

第48回献血運動推進全国大会

参加報告と我が会長

去る7月24日(火)に、第48回献血運動推進全国大会が皇太子ご臨席のもと滋賀県大津市で開催されました。我がライオンズクラブ335C地区6R、7Rから2台の血液事業用車両贈呈式もありました。

始めて滋賀で開催される献血運動推進全国大会に、寺本会長旗振りのもと、5名で参加してきました。始めて滋賀で開催、第48回、あれ?全国48都道府県あつたつけ?いや県が増えたという話は聞いたことがない。と言うことは、2回りにどこかで2度開催していることになる。東京しかあり得ないと調べてみたら、やはり東京でした。それにしても日本の真ん中近くにあつて(過去は日本の中心の時期も。だんだん東よりになっているようですが)、最後の開催県とは?

医療に関する全ての血液製剤を献血血液により確保する目的で開催されている大会。少子高齢化の波に血漿分画製剤は外国からの輸入に依存しているとのこと、改めてライオンズクラブの献血運動に意義を感じた大会でした。が、大会参加に意義を感じたか否かは参加者の判断に任せると致します。



今年の我がクラブの会長は、献血の鬼と言われている献血男。献血委員であるうがなかつが、担当副会長であるうがなかつが、口は出す?、手は出す?、血も出す?、?誤ではありませんが、とにかく献血に対しては半端な姿勢ではなく、熱いものを持っておられます。

赤十字の方、役所、協力企業の献血担当されている方々全てと旧知の仲。あまりの献血マンぶりに、献血委員会委員長の不甲斐なさには横からブスリ、はたまたお株を奪う年もなくはないような?何れともあれ強力な助っ人であることには間違いはなく、献血に関して困った時の寺本頼みは栗東LCの常識。

栗東ライオンズクラブ 幹事 永岡 栄

その他の活動

恒例の納涼家族例会開催



クラブ便り

京都淀LC

歩こう会開催

去る、7月22日(日) 歩こう会を開催致しました。京都淀ライオンズクラブメンバー及び関係者計25名(内子供2名)が参加し、健康診断・体力チェックを実施致しました。

コースは、山科区の地下鉄御陵駅を15時に出発↓天智天皇山科陵参拝↓疎水べり散策↓瑞光院↓毘沙門堂双林院参拝↓地下鉄山科駅17時30分到着の約5kmを2時間30分かけてのウォーキング。

真夏の猛暑の中、当初は全員が歩きまわれるか心配でしたが、御陵の入口からしばらく歩くと、両側に高い木々が立ち並び、歩くうちに周りの喧嘩がかき消えてしまい静かで、心地良い涼しい空間になっていき、自然への憩いのひと時を過ごしました。そんな中、厳しかったのは、毘沙門堂の表門に当たると仁王門への急峻な石段でした。全員手摺を持って声を掛け合っ

て登りました。全員が、熱中症、怪我なく無事に、地下鉄山科駅に帰ることが出来ました。後の懇親会では、各個人の健康管理の話で盛り上がりましたね。私のチェックですが、体力は全員10歳以上若いと思えました。歩こう会会長岡田博には、身近で自然と親しめて楽しく体力チェックの出来る企画で、開催して頂き、ありがとうございました。次回の開催を心待ちにすると共に、今後より多くのメンバーの参加を願い、一層の絆を深められればと思っております。



その他の活動

8月19日(日) 早朝奉仕例会

草津LC

びわ湖遠泳大会への協力

夏空が一段とまぶしくなる頃、7月27日(金) 午前10時より滋賀県のびわ湖(近江八幡市 宮ヶ浜水泳場)において、草津市立草津小学校主催の「びわ湖遠泳大会」が開催されました。この遠泳大会の歴史は古く、凡そ20年前から開催されており、当草津ライオンズクラブは平成11年度より、10年以上に渡り協力させていただいております。



参加対象児童は、6年生の全児童79名です。児童らは、自己の泳力に応じて、1000m、600m、400m、200m、100mの各5通りの距離の中で1つを選択し、泳いでいきます。そこで、当草津ライオンズクラブは、児童らが遠泳をしている間、手漕ぎボート7艘と監視船2艘に各会員が乗り込み、事故防止のため、湖上監視を行いました。児童らが、自ら設定した遠泳の目標距離をゴールに向かってひたすら泳いでいく姿に感動するばかりでした。また、我々会員が当時の小学校時代の自らの姿を遠泳する児童に投影していた者もいたのではないかと思います。最終的に児童全員が無事に自己の設定した目標の距離を泳ぎました。1つの目標を成し遂げた児童らにとって、この日は、生涯忘れられない思い出の日となるのではないのでしょうか。草津市立草津小学校の6年生の全児童79名の輝かしい未来をお祈り致します。

青少年交流委員会委員長 堀竹 宏彰

その他の活動

8月18日(土) エコキャップ回収ボックスの寄贈
草津音楽甲子園



クラブ便り

京都パレスLC

京都市長 門川大作様をお迎えして

8月10日、連日猛暑が続く中、市長をお迎えして、楽しく例会を開催することが出来ました。

最初に、市長の主旨である「京都力を活かした新たな挑戦」について講演していただきました。

市長は、市政に対する新しい方針の一つとして、検案であった財政の建て直しを先行し他方面から赤字の部分を黒字へと改革され、我々京都市民のため、大変な努力をされています。

又、大きな観点から、京都を世界に誇れる文化都市として高める為、未来「みやこプラン実施計画」をたてられ、10年、20年先を見越した事業を熱く語られました。

当クラブが毎年、重点的の事業として、青少年育成の一環として、京都市立銅駝美術工芸高等学校のヨーロッパ美術研修派遣事業の事に対して、非常に感心を持たれ学生達が互いに刺激し合い、進学率が非常にアップしたと、大変喜ばれ、これからも引き続きよろしく頼むと言われ、当クラブが長年続けていた事業を評価され大変嬉しく思いました。時間いっぱい、お話いただき有意義な時間を過ごすことが出来ました。

PR・情報・IT委員長 古谷 伸行



京都錦LC

3クラブ合同

郊外アクティビティ in 高雄

昨日は、京都洛翠ライオンズクラブ、京都シニアライオンズクラブと当クラブ合同での郊外アクティビティでした。

まだまだ残暑の厳しい中でしたが、鳥獣戯画で有名な高山寺を見学し、高雄の錦水亭で皆さんと楽しいお食事と交流を深めさせて頂きました。





クラブ便り

愛知LC

「河川の清掃作業」

赤十字奉仕団と共に

愛知ライオンズクラブでは毎年クラブ事務所近くの河川で年2回（5月、9月）の清掃活動を行っています。メンバーの大多数は自前の草刈機を持参し日赤奉仕団の方はカマでの作業です。

朝8時からの例会後、作業に入ります。年2回の清掃作業にかかわらず雑草が茂って作業も大変でしたが、やはり大勢での作業ですから約3時間で見事にきれいにさせていただきました。

清掃作業後、今始めてクラブ事務所赤十字奉仕団さんとの昼食会を行いました。全員の自己紹介の後、和気あいあいの中の昼食会となり親睦を深めた奉仕例会でした。

愛知ライオンズクラブ 情報PR委員会 高田 久良



彦根LC

児童発達障害支援事業に参加

彦根ライオンズクラブ（青山会長）の本年度社会福祉事業として、初めてNPOぽぽハウスのほばたき児童発達支援に奉仕参加致しました。

一回目は、8月4日（土）の大変暑い炎天下に小学4年～6年生を対象にした「醒ヶ井養鱒場に行こう」の支援集団活動を、会長と福祉委員長等のメンバーが参加し、車椅子を押したり魚つかみに夢中な子供たちに危険のないように手をつないだり、自然に囲まれての奉仕活動でした。

二回目は、9月15日（土）に同施設の中・高生を対象にしたお昼ご飯調理体験を、市の調理設備のある調理室にて「パエリア風炊き込みご飯、スープ、フルーツポンチ」を対象者と施設の方々や応援看護塾のメンバーの方々と、具材の用意から調理、会食、最後の食器洗い等、後始末まで仲良く過ごし一日の奉仕を終えました。

年度内にもう一回、同施設の奉仕を行う予定です。

社会福祉委員長 松尾 成吉





クラブ便り

園部LC

第31回園部ライオンズクラブ

争奪杯軟式少年野球大会開催

9月2日(日) 秋晴れの中、今年で第31回を迎える園部ライオンズクラブ杯争奪少年野球大会を開催しました。今回は学童の部・中学の部併せて19チームの参加があり熱戦を繰り広げました。

開会式終了後は恒例となっている園部ライオンズクラブチームと6年生合同チームとの親善試合を行い、山内会長の始球式で始まり平均年齢60歳の我がチームも、ヒットあり、ホームランあり、エラー、エラー、エラーありと善戦しましたが、大応援もむなしく今年も大敗でした。「来年こそ1勝を！」と誓い、ケガもなく楽しく終えたことに安堵しました。



今後もこのような地元貢献するアクティビティを積極的に実施していきたいです。

PR・情報委員長 廣瀬 健一

長浜LC

長浜ライオンズクラブ主催献血

毎年恒例の事業活動として当クラブが主催の秋の献血運動を平成24年9月21日(金曜日)於イオン長浜店駐車場・湖北献血ルーム)で開催しました。

当日は天候にも恵まれ160名あまりの献血参加をしていただき、結果実質採血140名となりました。

長浜ライオンズクラブもこの事業の認識は強い。ため各会員の協力の中、毎回大勢の献血をいただきクラブとしてもやりがいのある事業と位置づけています。献血・福祉厚生委員会のメンバーも一日お世話する中で笑顔で楽しく活動しておりました。





クラブ便り

竜王LC

青少年育成事業

(第2回竜王町子ども英語スピーチ大会)

8月12日(日)、『竜王町子ども英語スピーチ大会』が開催されました。

小学校での外国語活動の開始や中学校での英語の授業時間数の増加などに伴って、英語で表現することの楽しみや外国語への興味を高め、国際化社会に通用する人材の育成を目的に昨年度から開催されております。2回目を迎えました今回は、竜王ライオンズクラブも共催させていただきました。小学生から中学3年生まで、総勢33名の子供たちが、見事なスピーチを披露しました。

今回は、小学生の部11人、中学生の部22人が出場。例文や教科書、詩、歌詞の一節、自分の夢や夏休みの生活などを、小学生は2分前後、中学生は5分前後で暗唱しました。

出場者は、身振り手振りを交えながら、豊かな表現力で、本場に向けて続けてきた練習の成果を堂々と発表されました。大勢の家族や友人らが詰めかけ、一人ひとりのスピーチが終わるたびに大きな拍手が送られ、会場は沸きに沸きました。

教育長賞、竜王ライオンズクラブ賞、優秀賞、努力賞、各賞を入賞者に贈られ、出場者全員に竜王ライオンズクラブから参加賞をお贈りいたしました。

国際社会に羽ばたく、我が竜王町の子供たちの未来に関わる事業に参画させていただけましたことに感謝。

社福市民青少年育成委員長 岡山 治彦

PR情報委員長 岡山 健喜



京都賀茂LC

第15回手話劇コンクールに向かって

平成二十五年三月二十四日に第15回手話劇コンクール京都大会をグランドプリンスホテル京都に於いて開催いたします。例年京都大会第二ホールに於いて開催していましたが、今回は改修工事の為に使用できず、当クラブ例会上のグランドプリンスホテル京都に於いての初めてのホテル会場開催となります。

今回より手話劇部門とパフォーマンス部門の2つに分けて募集しました。京都大会の舞台とは違ったホテル会場での舞台となりますので、新しいチャレンジとなります。不安もありますが大きな新しい期待で胸がいっぱいです。当クラブメンバー全員で舞台にて手話で「ライオンズクラブの歌」を練習して披露します。9月第二例会に「手話講習例会」を実施して、京都市聴覚障害者協会の戸田様、京都市手話通訳問題研究会の高野様、本岡さまの手話指導を受け、メンバー全員が熱心に手話歌に挑戦いたしました。大変熱気のある例会となりました。

当クラブのメインアクティビティ「手話劇コンクール」実施の為、パンフレット広告募集、チャリティーバザール、チャリティゴルフと資金調達や、手話劇へのメンバー賛歌と、メンバー全員が多くの協力者の方々と力を合わせて努力奉仕に頑張っております。毎年多くの努力時間を費やしての「手話劇コンクール」ですが、聴覚障害者の方々と健聴者の方々との交流に役立ち、手話文化の発展のお力になれば、手話劇に関わっていただいた関係者の方々、当クラブメンバーの汗と涙も至福の喜びとなります。手話劇・パフォーマンス・手話歌と楽しんで頂きますよう頑張る練習に励みます。熱き感動を持ち帰って頂けますこと信じております。

他クラブメンバーの皆様にも毎回のご協力に心より感謝申し上げますと共に、今回も何卒御協力頂きますようよろしくお願い申し上げます。

京都賀茂ライオンズクラブ 幹事 浦田 正子





クラブ便り

京都洛西「C」

昨日ライオンズデーとして洛西、嵯峨野2クラブ
合同の事業を行いました。

平成24年10月8日

洛西ニュータウン内ラクセーヌ広場

1、献血（主に洛西）

1、盲導犬に対する寄付のお願い（主に嵯峨野）

以上の事業を行いました。

又、シートベルト着用での衝突体験（JAF）

バルーンアートなどのアトラクションを行いました。

京都洛西ライオンズクラブ L真野 正幸



京都「さびり野」C

CN30周年記念事業

山中伸弥氏講演「高校生の夢と未来」

平成24年7月19日（木）、当クラブCN30周年記念事業のひとつである「iPS細胞研究所
長山中伸弥氏講演「高校生の夢と未来」を京都大学時計台記念館にて開催致しました。

当日は多くのメンバーが朝から集って講演の準備をしました。講演会には多くのご来賓、京
府内400名の高校生の出席があり、会場は満席状態となりました。

講演会前には京都府副知事、京都市長、地区ガバナーよりご祝辞をいただき、また、実行委員
長し竹市より挨拶がありました。

講演会では、山中先生の中学生時代・高校生時代の日常の話、柔道部に所属していたため、ケ
ガが絶えなかったことから整形外科医を志したこと、医大生時代の話、インターン時代の話など
をおもしろく話されました。また、手術がうまくできなかつたため、整形外科医の道を挫折した
経験から、「整形外科医では治せない脊椎損傷や筋萎縮性側索硬化症（ALS）の治療法を見つ
ける」ため研究医となり、その後アメリカに渡った話などもされました。

高校生に対しては「決して勉強は無駄ではないし、挫折があつたから
こそ今の自分がある、何もしないというのが一番もったいないことで、
音楽でもスポーツでも何でも良いので、何かを一生懸命して下さい」、「日
本では回り道をあまり評価しないが、失敗から学べることは多いので、
どんどん失敗して欲しい」とチャレンジする大切さを説かれました。
一番大切な心構えとして「何か悪いことが起これば『身から出た錆』。
うまくいけば『おかげさま』を挙げられ、iPS細胞の樹立も若いスタッ
フたちのおかげと強調されました。

高校生から山中先生へ、研究者として大切に
している姿勢について質問されると、「実験結果を
一生懸命見て、予想に反するときこそ新たな視点
や独創が生まれる。固定観念にとらわれないでほ
しい」と語りかけられました。
高校生たちはきつと「夢と未来」を持ち帰って
くれたと確信しています。

なお、iPS細胞研究基金への支援として、研
究費を寄付させて頂きました。





クラブ便り

京都乙訓LC

京都乙訓LC主催第29回乙訓地区少年剣道交流大会 (平成24年9月23日長岡京市立西山公園体育館で開催)

京都乙訓ライオンズクラブメンバーである小林繁が乙訓剣道協会会長として大会実行委員長をつとめる、第29回乙訓地区少年剣道交流大会に大会会長として出席させていただきました。当クラブから大会総務委員として大村幹事始め、我がクラブメンバー各位、剣道協会の会員の先生方、子供たちのお母さん、ご家族の方々、一般の方々とのご参加を得ました。また2階の観覧席にも多くの方々に応援に駆けつけておられました。

来賓として向日町警察署長、長岡京市教育長、京都新聞洛西総局長を招き、開会式を開き、参加した少年剣士の総数は13団体から198名、学年別にトーナメント方式で熱戦を繰り広げました。今年度は地域中学校剣道部の新人戦と日程が重なり、中学生の参加者数が前年度より十数名減少したのは残念であった。

始めに総合練習で全員が一同に打ち込み練習をした。指導された先生の掛け声で始めたときは体育館の床が波打ち始め、建物全体が揺れているのを体感した。198名の少年剣士の力強さに驚き素直に脱帽しました。

剣道は「礼に始まり礼に終わる」の言葉通り、きびきびと子供たちが動く姿をとっても頼もしく感じました。



朝10時に始まり夕方4時までの間、初心者(幼稚園児も含む)の部、小学校2年生以下の部、小学2年生の部、3年生の部、4年生の部、5・6年生男子の部、女子の部、中学1年生男子の部、女子の部、2年生男子の部、3年生男子の部、2・3年生女子の部、高校男子の部、女子の部、各区分に分かれ元気よく声を出して日頃の練習で鍛えた元氣溢れる剣道を見せられました。

より多くの子供たちに賞状とメダルを与え日頃の練習の励みになる様、実行委員会の意向のもと、各区分別に金賞、銀賞、銅賞を、そして中学校の部、高校の部、各道場の部、この総合点を計算して最高点を挙げた部に団体賞としてライオンズクラブ杯を贈りました。

一度にこれほど沢山の賞状とメダルを渡したのは初めての経験、大変貴重な経験をさせていただきました。勝ち負けよりは参加して楽しむことを重点にしているこの交流大会が継続するように我々は微力ながらがんばります。

関係各位の皆様今後とも、よろしくご指導ご鞭撻お願い申し上げます。

参加団体
道場：6団体、中学校：4校の剣道部、高校：3校の剣道部 合計 13団体

京都乙訓ライオンズクラブ 会長 小西 章



野洲LC

野洲ライオンズクラブ杯争奪 少年サッカー大会

日時 平成24年10月7日(日) 10:00
場所 野洲川歴史公園サッカー場「ビッグレイク」
参加者 L. 村井 L. 富波 L. 藤村

雲一つない絶好のサッカー日和に恵まれた10月7日(日)、野洲川歴史公園サッカー場「ビッグレイク」で野洲ライオンズクラブ杯争奪少年サッカー大会(3年生大会)が開催されました。

「ビッグレイク」とはもちろん琵琶湖に因んだ名前前で、天然芝が一面、人工芝が2面のサッカー場です。野洲ライオンズクラブでは、「ビッグレイク」完成と同時に子どもたちが「ビッグレイク」を利用する機会を増やし、サッカーを通じて、青少年の健全育成を図ろうと、少年サッカーの支援を進め、野洲ライオンズクラブ杯争奪少年サッカー大会を運営してきました。

毎年、野洲ライオンズクラブ杯争奪少年サッカー大会は野洲市、守山市の少年サッカーチームに声掛けしていますが、今年も小学校3年生の大会で、野洲市、守山市の計16チーム、小学校3年生以下の約250人あまりが参加し、一日中憧れの人口芝グラウンドでボールを蹴って楽しく、ゲームを楽しみました。

野洲の少年サッカーからは10人以上のJリーガーが誕生していますが、子どもたちからは先輩のブンデスリーガ、フランクフルトの乾貴士選手さんからのプレーも飛び出し、観客から大きな拍手が起っていました。

結果は、優勝は野洲ジュニアFC。Bチームで野洲ライオンズクラブ村井会長より、表彰状とカップが贈呈され、楽しい一日が終了しました。

野洲ライオンズクラブでは、青少年健全育成のために野洲市体育協会と連携し少年サッカーの他に、少年柔道、少女バレーボールも支援しており、今後も継続して取り組んでいきます。

文責 副幹事 藤村 洋二



右手に注目



表彰状を読み上げる村井会長



クラブ便り

京都桃山LCC

京都桃山ライオンズクラブ

第50期 一年のあゆみ「絆」

京都桃山ライオンズクラブは結成第50周年を期に「一年のあゆみ絆」という冊子をクラブメンバーに配布するため作成しました。

第50期会長の感想や委員会構成、在籍したメンバーの氏名などを初め、50周年記念事業（京都ホテルオークラでの式典祝宴）・記念アクティビティ（京都会館第一ホールでのチャリティーコンサート）・宇治川派流域・寺田屋浜での「龍馬とお龍、愛の旅路」と題したブロンズ像建立除幕式・その他の動きなどを掲載し、結成50周年という大きな区切りでメンバーの心に残る冊子となりました。

京都桃山ライオンズクラブ PR・情報・IT委員長 栗林 勉



その他の活動

国際平和ポスターコンテスト選考例会

京都チエリーLCC

東日本大震災復興支援

チャリティーコンサート

京都チエリーLCCと京都薫風LCC合同で、東日本大震災復興支援「未来への夢」プロジェクトの一環として、チャリティーコンサートを九月二十四日、開催致しました。

コンサートは、フルート奏者の園城三花様とチェロ奏者の細辻秀美様がボランティアで参加して下さいました。篠笛や神楽笛も交え、国内外のクラシックや唱歌などの演奏と共に、笛の歴史の旅のトークは、心がなごみ、心地よい緊張感と豊かな時が流れました。そして京都に一時避難されている方々にも、ひと時を楽しんで頂きたくご招待いたしました。ご来場者数五百名と大盛況の中で催すことが出来たこと、大変うれしく思っています。

私達が今出来ることは、この度の震災が風化しないよう大きな教訓として心に刻むことだと思えます。昨年は、六月に「チャリティー茶会」を開催し、その収益で右手塚下の小学校に画材を提供しました。子供達に「未来への夢と希望」をテーマに描かれた絵は、今年の三月十一日より、全国一〇三ヶ所のイオンモールにおいて絵画展を開催致しました。全国より大きな反響があり、感動するメッセージや励ましの言葉が岩手県に沢山寄せられ皆様はとても喜んでおられました。

私達女性クラブは、女性として母として、一番気がかりなのは、子供達のことです。

未来ある子供達に、夢と希望を持って明るく元気に育ってほしいと願っております。「今、何を」と、あれこれ思い悩んでいる子供達もおられるのではないかと案じながら、今年も宮城県下の子供達に「未来への夢と希望」を絵に思いを描いていただき、全国の方々に伝え発信してまいりたいと思えます。そして少しでも早くその夢が叶いますよう支援の輪を広めて頂くことを願っております。来年の三月十一日には、全国の皆様に宮城県の子供達の思いをご覧頂きたくお願い申し上げます。

京都チエリーLCC 東日本大震災復興支援
実行委員長 磯辺 寿子



その他の活動

8月22日(水)母子生活支援施設の現状を学ぶ例会



クラブ便り

京都市城南L.C

第15回さつまいも掘り大会

去る、9月30日(日)午前10時から「第15回芋掘り大会」を開催致しました。台風17号が近づいている影響で、生憎の時折小雨のぱらつく曇り空のお天気でしたが、どうにか無事大過なく終了致しました。

宇治市内の6ヶ所の福祉施設の園生・保護・引率者110名とライオンズクラブ関係の来賓14名並びに京都市城南ライオンズクラブメンバー、LJ等で総勢150名の参加で楽しいひと時を過ごしました。

芋掘りコンテストでは、大きさ・長さ・子だくさんで比べあい、景品をもらった園生たちの嬉しそうなお笑顔が印象的でした。台風が近づいているので、おにぎりも早めに渡し、それぞれに自然の土に触れながら、収穫の喜びを共に味わったアクティビティでした。後片付けをする頃には、雨も降りだしましたが神様に守られながら貴重な3時間の大会でした。

日々の We Serve の精神・お力を頂きながら活動のお陰様で最後まで笑顔あふれる奉仕活動が出来ました。

お世話になった関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

京都市城南ライオンズクラブ 幹事 中谷 清徳



亀岡保津川L.C

ライオンズデー振替清掃例会

我がクラブの年二回の継続事業、古世親水公園の清掃を、ライオンズデー振替清掃例会として9月19日(水)に実施しました。

当日は天候にも恵まれ、緑地の除草、水路内のゴミ・苔の除去等にメンバー全員で汗を流しました。

この親水公園は旧亀山城の外堀跡で、現在も豊富な湧き水があり、市民の憩いの場、生活の場として、また、近隣には醤油や酒の醸造元があり、古くから水の豊かな場所であった事がわかります。

近隣の亀岡保育園の園児の遊び場としても利用されています。

クラブ設立以来、清掃活動はもとより、植樹や啓発看板設置等を実施してきました中で、メンバー全員に、この公園に対する愛着が生まれ、育つてきていると実感しました。

環境保全委員長 黒川 浩二





L 石川 浩二
(S.47年6月30日生)

京都洛南L・C

有限会社ホームアンドライフ
代表取締役
不動産分譲業



L 平田 芳久
(S.37年3月14日生)

京都南L・C

(株)近鉄ホテルシステムズ
ウエスティン都ホテル京都
総務部長
ホテル業



L 碓山 裕一
(S.29年6月2日生)

京都L・C

(株)近鉄ホテルシステムズ
ウエスティン都ホテル京都
副総支配人
ホテル業



L 今井 稚也
(S.37年3月30日生)

京都京洛L・C

ユニ化成株式会社
代表取締役
捺染用剤開発製造



L 松本 清一
(S.19年12月7日生)

京都京洛L・C

(株)マツモト
代表取締役
畳工事



L 松田 糸子
(S.11年4月18日生)

京都京洛L・C

(株)マツダ
代表取締役社長
ネクタイメーカー



L 鵜川 和久
(S.45年9月19日生)

京都西L・C

株式会社ユビックス
代表取締役
リラクゼーション・エステ



L 今西 縁里
(S.37年9月25日生)

京都西L・C

京都府立京都すばる高等学校
英語教諭
京都府教諭



L 森 俊二
(S.34年2月16日生)

京都西L・C

株式会社電通
関西クリエイティブ局次長
関西クリエイティブ統括室長
広告会社



L 坂部 昌一
(S.33年6月22日生)

京都西L・C

エルティーアイ株式会社
代表取締役社長
防災製造販売業



L 加能 靖朗
(S.14年12月23日生)

京都西L・C



L 川久保啓一
(S.38年2月4日生)

京都錦L・C

株式会社 サンコンタクトレンズ
サブリーダー
医療機器製造販売



L 児嶋 正邦
(S.46年6月28日生)

京都鴨川L・C

アローズ司法書士・行政書士事務所
代表社員
司法書士



L 清水 初子
(S.3年9月16日生)

京都鴨川L・C

株式会社電通
関西クリエイティブ局次長
関西クリエイティブ統括室長
広告会社



L 則貞 幸太
(S.49年9月12日生)

京都朱雀L・C

ひかり税理士法人
共同経営者
税理士



L 谷内 伸行
(S.53年2月1日生)

京都西L・C

(有)オフィスショップヤチ
事務用品販売



L 佐々江早人
(S.31年11月7日生)

京都東L・C

ウエスティン都ホテル京都
宴会セールス部長
サービス業



L 加藤 正浩
(S.42年2月27日生)

京都高野川L・C

KATO 建築研究所
代表
建築設計



L 中村 賢
(S.46年10月19日生)

京都錦L・C

株式会社今井新造商店
建築



L 山本 和正
(S.46年10月6日生)

京都錦L・C

株式会社ファインテクニカル
代表取締役社長
建設業・総合ビルメンテナンス



L 金子 知弘
(S.39年10月20日生)

京都錦L・C

合資会社シースリーネット
代表
ソフトウェア開発・販売
及びインターネット関連

新会員の紹介

おめでとうございます



L 梶 道嗣
(S.37年1月22日生)

京都洛中L・C

北野天満宮
禰宜
神職



L 細川 昇一
(S.42年5月16日生)

京都華頂L・C

(株)全管連
副社長
不動産



L 渡邊 浄廣
(S.23年12月13日生)

京都華頂L・C

本正寺
住職
僧侶



L 熊本 智之
(S.39年11月23日生)

京都日吉ヶ丘L・C

有限会社セントクルーズ
代表取締役
自動車販売



L 酒井 基雄
(S.38年2月7日生)

京都市みやこL・C

ホテルモンテ京都
副総支配人
ホテル業



L 村田 重登
(S.38年10月8日生)

京都紫明L・C

京都全日空ホテル
営業統括本部長
ホテル業



L 藤原 保昌
(S.41年3月16日生)

京都洛北L・C

株式会社高尾製作所西院工場
取締役製造本部長
理化学機器製造販売



L 野々口佳孝
(S.32年9月7日生)

京都洛北L・C

ケイエヌプランニング株式会社
代表取締役
保険代理業



L 脇田喜智夫
(S.26年3月13日生)

京都洛北L・C

御所南法律事務所
所長
弁護士



L 平野 高士
(S.42年3月22日生)

京都洛中L・C

(株)アイ・パートナー
生損保代理店



L 高橋 昌次
(S.36年10月8日生)

京都乙訓L・C

(有)高橋自動車
代表取締役
自動車販売・整備



L 坂本 眞一
(S.35年1月20日生)

京都乙訓L・C

(株)三宅工務店
管理建築士
一級建築士



L 堀江 和夫
(S.26年6月20日生)

京都乙訓L・C

(株)堀江商会
取締役会長
ハウスクリーニング業



L 岩城 一夫
(S.25年10月14日生)

京都乙訓L・C

長岡京市議会
長岡京市議会議員
長岡京市議会議員



L 寺田 威
(S.46年11月15日生)

京都紫明L・C

株式会社成基
常務取締役
不動産業・建設業・マンション管理業



L 白浜 徹朗
(S.32年2月27日生)

京都桃山L・C

弁護士法人白浜法律事務所
所長
弁護士



L 田中 満一
(S.21年2月2日生)

京都桃山L・C

(株)田中印刷
取締役会長
印刷業



L 田淵五十生
(S.17年10月8日生)

京都桃山L・C

京都府議会
京都府議会議員



L 大場 弘貴
(S.40年8月8日生)

京都嵐山L・C

(株)京祝開発
代表取締役
貸ビル業



L 山内 和生
(S.40年7月6日生)

京都乙訓L・C

(株)山内工務店
代表取締役
建築業



L 菊山 晃寿
(S.40年3月2日生)

京都市城南L・C

ニュースキンエンタープライズ代理店
代表者
エイジングケア製品取扱



L 川瀬 浩司
(S.39年9月13日生)

京都市城南L・C

(有)川瀬損害保険事務所
代表取締役
保険代理業



L 山田 伸子
(S.33年10月20日生)

京都むらさきL・C

株式会社芳村石材店
取締役
石材業



L 伊藤 愛美
(S.54年1月12日生)

京都洛東L・C

佳
部長
飲食業



L 岡本 敦
(S.38年12月13日生)

京都洛東L・C

ウェスティン都ホテル京都
料理長
ホテル業



L 黒田 直正
(S.29年3月4日生)

久美浜L・C

久美浜関郵便局
局長



L 吉岡 憲雄
(S.18年12月25日生)

久美浜L・C

生損保代理店



L 日和 重光
(S.41年4月17日生)

夜久野L・C

京都丹の国農業協同組合
支店長
団体職員



L 折竹 基弘
(S.52年3月15日生)

亀岡保津川L・C

(有)折竹
代表取締役
保険代理業



L 宅間千江子
(S.43年11月19日生)

亀岡保津川L・C

明治安田生命保険(相)亀岡営業所
支部マネージャー
保険業



L 湯浅 清明
(S.29年12月11日生)

草津L・C

滋賀県赤十字血液センター
事業部長
医薬品製造販売業



L 望月 英明
(S.33年1月10日生)

大津比叡L・C

大津プリンスホテル
宴会営業マネージャー
ホテル業



L 目片 雅喜
(S.34年9月22日生)

高島L・C

滋賀銀行今津支店
支店長
金融業



L 辻 真通
(S.38年12月22日生)

久美浜L・C

(株)辻建設
代表取締役



L 真鍋 茂男
(S.35年9月6日生)

久美浜L・C

(有)真鍋組
代表取締役



L 市原 邦雄
(S.18年4月28日生)

野洲L・C

社会福祉法人野洲慈恵会
理事長
社会福祉事業



L 渡邊 信介
(S.17年7月28日生)

野洲L・C

野洲病院
院長
医師



L 吉田 明矛
(S.48年5月5日生)

近江守山L・C

吉田電機空調株式会社
副社長
電気空調工事業



L 小川 泰江
(S.38年2月23日生)

近江守山L・C

守山市議会
守山市議会議員
議員



L 岡村 貞一
(S.25年9月18日生)

近江守山L・C

医療法人金亀会
岡村歯科診療所
理事長
歯科医師



L 西村 善幹
(S.44年5月19日生)

竜王L・C

(株)西村設備工業
代表取締役
建設業



L 山添喜久男
(S.33年2月18日生)

竜王L・C

山添電気
代表
電気工事



L 山田 恭久
(S.35年11月14日生)

野洲L・C

びわこ観光バス(株)
取締役営業所長
貸切バス・旅行業



L 布施 吉司
(S.35年1月16日生)

野洲L・C

(株)高布
取締役専務
運輸・建設業



L 山本 博一
(S.28年12月19日生)

野洲L・C

(株)サンミナ- SCI システムズ・ジャパン
購買部長
EMS



L 水谷 勝彦
(S.33年11月17日生)

彦根金亀L・C

水谷醤油醸造場
代表
醤油製造販売



L 小嶋榮美子
(S.22年7月8日生)

彦根金亀L・C

フラワーショップ Petit Fleur
代表
生花販売



L 吉原 信広
(S.34年1月26日生)

長浜L・C

関西アーバン銀行 長浜支店
長浜エリア長 兼 長浜支店長
金融業



L 池野 弘和
(S.33年8月2日生)

長浜L・C

長浜信用金庫 本店
審査部 部長
金融業



L 上田 邦浩
(S.39年8月30日生)

彦根L・C

株式会社ウエダスポーツ
代表取締役社長
スポーツ関連 小売業



L 中島 秀利
(S.43年4月24日生)

奈良セントラルL・C

(株)中秀食料品店
代表取締役
酒・食料品販売



L 小川 佳秀
(S.26年6月21日生)

奈良セントラルL・C

燦ホールディングス(株)
顧問
会社員



L 倉本 昌和
(S.48年10月18日生)

奈良L・C

(株)渡辺写真館
総務部長
写真



L 山田 宗徳
(S.48年8月21日生)

彦根みずほL・C

(有)ジェイズシステムズ
代表取締役
情報通信業



L 田中智家臣
(S.46年5月5日生)

彦根みずほL・C

ラウンジアトリエ
代表
飲食業



L 梨原 弘勝
(S.38年6月22日生)

大和郡山L・C

(株)南都銀行 筒井支店
支店長
金融業(銀行)



L 藤井 卓
(S.37年5月2日生)

大和郡山L・C

(株)タック
代表取締役
イベント・コンサート企画制作



L 伊藤 隆司
(S.39年12月23日生)

奈良西L・C

株式会社 飛鳥荘
代表取締役
旅館業



L 艸香 春治
(S.27年11月22日生)

奈良西L・C

自宅
不動産賃貸業(農業)



L 吉田 茂典
(S.37年5月12日生)

生駒L・C

株式会社南都銀行 東生駒支店
支店長
金融業



L 田里 俊朗
(S.40年7月31日生)

橿原L・C

エース証券株式会社橿原支店
支店長
証券業



L 土井 淳司
(S.36年3月6日生)

橿原L・C

大和信用金庫 八木支店
支店長
金融業



L 中山 貴典
(S.40年3月18日生)

大和郡山L・C

(有)在宅介護サービス応援隊
代表取締役
介護事業



ご冥福をお祈り申し上げます。



故 L坂口 正一

大和高田LC
没 平成24年8月13日
享年101才

ライオン歴

1962年3月 入会
1963年度 第3代会長
1964年度 ゾーンチェアマン
1965年度 デビューティ・ガバナー
1976年度 地区ガバナー
1981・82年度 国際理事



故 L藤井 環

大和高田LC
没 平成24年6月29日
享年73才

ライオン歴

1995年2月1日 入会
2010年度 ライオンテーマー
2011年度 副会計



故 L栩谷 四朗

京都鴨川LC
没 平成24年6月25日
享年91才

ライオン歴

1963年 入会 チャーターメンバー
1980年度 地区PR・ライオンズ情報委員長
1985年度 会長
1992年度 地区指導力育成委員長
1993年度 1Rリジョン・チェアパーソン
1995年度 キャビネット事務局長



故 L赤尾 五郎

香芝LC
没 平成24年6月1日
享年88才

ライオン歴

1978年 北葛城LC入会
1996年～1997年度 会長
2001年～2002年度 地区YE副委員長



故 L南 忠治

香芝LC
没 平成24年9月8日
享年91才

ライオン歴

1980年12月 入会
1996年度 第1副会長
1997年度 会長
2004年度 地区献血・イアーバンク委員



故 L木田 雅三

京都桃山LC
没 平成24年9月1日
享年93才

ライオン歴

1963年 入会
1984～1985 第23代会長
1986～1987 335-C地区薬害教育委員長
1993～1994 4R1Zゾーン・チェアマン



故 L山口 義弘

京都パレスLC
没 平成24年8月29日
享年68才

ライオン歴

2004～2005 幹事
2008～2009 会長



故 L小野 常正

京都LC
没 平成24年8月17日
享年84才

ライオン歴

1990年7月 入会
1993～1994年度 地区副会計
1993～1994年度 理事
1994～1995年度 理事
1995～1996年度 会計
2000～2001年度 理事



故 L藤井 新一

近江守山LC
没 平成24年9月27日
享年92才

ライオン歴

1963 入会 チャーターメンバー
1977～78 第15代会長
1984～85 335-C地区PR委員



故 L北小路博央

京都ロイヤルLC
没 平成24年9月11日
享年83才

ライオン歴

1978年6月15日 入会 チャーターメンバー
1978年度 理事
1979年度 理事
1989年度 理事
1990年度 理事
1992年度 第三副会長
1993年度 第二副会長
1994年度 第一副会長
1995年度 会長
1998年度 会員理事
2010年度 第二副会長



京都洛南LC	京都南LC	京都LC	大津LC	奈良LC
京都西LC	京都烏丸LC	京都京洛LC	高島LC	桜井LC
京都賀茂LC	京都朱雀LC	京都室町LC	大津びわこLC	天理LC
京都桂LC	京都鴨川LC	京都ミレニアムLC	志賀堅田LC	奈良セントラルLC
京都錦LC	京都洛翠LC	京都御室LC	瀬田LC	生駒LC
北桑田LC	京都洛陽LC	京都シニアLC	大津比叡LC	奈良西LC
京都ときわLC	京都天神川LC	京都堀川LC	草津LC	大和郡山LC
京都チェリーLC	京都ニューセンチュリーLC	京都高野川LC	近江守山LC	斑鳩LC
京都うずら野LC	京都みやこLC	京都東LC	水口LC	大和高田LC
京都洛中LC	京都華頂LC	京都日吉ヶ丘LC	栗東LC	橿原LC
京都平安LC	京都セントラルLC	京都岡崎白川LC	甲賀LC	宇陀LC
京都洛北LC	京都北LC	京都橋LC	野洲LC	北葛城LC
京都紫明LC	京都葵LC	京都洛央LC	八日市LC	御所LC
京都薫風LC	京都パレスLC	京都ロイヤルLC	近江八幡LC	大和磯城LC
京都嵐山LC	京都洛西LC	京都乙訓LC	能登川LC	香芝LC
京都みやびLC	京都西の丘LC	京都嵯峨野LC	日野LC	吉野LC
京都醍醐LC	京都洛東LC	京都桃山LC	愛知LC	五條LC
城陽LC	山城LC	京都むらさぎLC	竜王LC	高市LC
宇治LC	京都やわたLC	綴喜LC	彦根LC	
京都鳥羽LC	宇治川LC	京都淀LC	長浜LC	
亀岡LC	京都玉仁LC	京都城南LC	木之本LC	
亀岡保津川LC	綾部LC	園部LC	彦根金亀LC	
夜久野LC	大江LC	福知山LC	彦根みずほLC	
舞鶴LC	福知山東LC	三和LC	米原LC	
丹後中央LC	網野LC	宮津LC		
	舞鶴みなとLC	久美浜LC		

メレバリーで創る
ザ・ライオンタイムズ

タイムズも皆様方のご

協力により今号で534

号を発行できました事を

心よりお礼申し上げます

PR・情報・IT委員

会一閃、一丸となり前号

より今号、今号より次号

と、より良いタイムズの

発行をめざし努力してま

いります

今後とも各クラブ様の

ご投稿並びに広告のご協

力お願い申し上げます

PR・情報・IT委員長

松岡 勲

副委員長

加藤和利

藤田弘美

中野幸彦

柴川 尚

担当運営委員

飯田謙二

本物の湯葉の味を是非一度ご賞味下さい。



くみあげ湯葉

創業百二十七年

良質な地下水と厳選された国産大豆によって
作り出されたゆば庄の湯葉は、
京の料理人に愛されつづけたこだわりの逸品です。
是非一度、本物の湯葉の味をご賞味下さい。



京の老舗
京湯葉 **ゆば庄**

本店 京都市南区東九条北烏丸町8番地
TEL 075-691-5510 FAX 075-691-6448
定休日 水曜日

京都駅店 京都市下京区東塩小路高倉町8-3
新幹線京都駅1F アスティーロード内
TEL 075-691-3631 FAX 075-691-3639
定休日 年中無休

www.yubasho.co.jp

L 橋本 昭司 (京都南 LC)

大豆とともに
未来に向かって

株式会社 京乃雪本舗



<http://www.rakuten.co.jp/kyo-yuki/>

L 濱野 好信 (京都南 LC)

* 第25回国際平和ポスターコンテスト審査結果報告 *

2012～2013 年度 ライオンズクラブ国際協会 335-C 地区

第 25 回国際平和ポスターコンテスト

テーマ 『Imagine Peace』

(訳：平和を想像しよう)

ライオンズクラブ国際協会は、子供たちに少しでも世界平和について考えてもらおうとの趣旨で、全世界のライオンズクラブを通じて国際平和ポスターコンテストを実施しています。

今年で第25回目を迎え、335-C地区においても10月29日に審査会が行われました。

地区内の児童が描いた同ポスター461枚（応募総数は16,737枚）から入賞者が別紙の通り選ばれました。

ガバナー賞に選ばれた3点及び第1副地区ガバナー賞1点、第2副地区ガバナー賞1点はこの後、335複合地区審査に臨み、さらに選ばれれば、国際協会へと進むことになります。

複合地区での結果は12月に、国際協会の結果は来年2月中に発表できる予定です。



Lions Times

ザ・ライオンタイムズ(335-C地区機関紙)

発行日◆2012年12月15日

発行者◆ガバナー 南 清右衛門

発行◆ライオンズクラブ国際協会 335-C地区 PR・情報委員会

編集者◆PR・情報・IT委員長 松岡 勲(京都南LC)

事務局◆〒600-8237 京都市下京区堀川通塩小路

リーガロイヤルホテル京都 3F 364号室

TEL.(075)344-0258

FAX.(075)344-0277

編集後記

今年度も第25回国際平和ポスターコンテスト展示会が、京都・滋賀・奈良会場にて行われました。多数の児童のみなさん、ご参加いただきました皆様に心より御礼を申し上げます。

早いもので今年も残すところあとわずかとなりました。皆様のご協力により、ライオンタイムズの発刊及びウェブサイトの運営も活発に進んでおります。ありがとうございます。

今後も、各委員会の活動・クラブのアクティビティの様子など、どしどしご投稿下さいますようお願い申し上げます。

地区 PR・情報・IT 副委員長 藤田弘美

PR・情報・IT 副委員長 加藤 和利(京都京洛 LC) 藤田 弘美(京都薫風 LC)

中野 幸彦(彦根 LC) 染川 尚(奈良 LC)

担当運営委員

飯田 謙二(野洲 LC)